

第3章 「どっとねっと」の日常を分析する

3-1 「どっとねっと」の経過と総括

平成19年9月下旬から約1年半に及ぶ「どっとねっと」の実験の成果をふり返るにあたって、運営に際しての一連の経過をみておきます。

3-1-1 「どっとねっと」の客観的な特徴について

参加者や関係者に現状（データ含む）を見てもらった感想や書き込まれた内容などを整理すると、次のようなことが言えるようです。

- ・アクティブライター20名では平均年齢が50歳代前半
- ・地域や日本の課題などに言及するものが多い。やや堅いテーマが少なくない。よそのSNSに比べてまじめすぎないか、の声あり
- ・まじめな（社会問題や地域開発等）テーマにもレスがしっかりある
- ・女性の参加者が少ない（だから難しいテーマになる？）
- ・いたずらがない
- ・交信上の意見の食い違いが数件のみ
- ・当初は朝、晩の書き込み傾向、週末の書き込み減というサラリーマン的、生活者の傾向が見られた。現在もその傾向が残っており、サラリーマンを対象としたような勤務にあわせた普通の時間帯がベースである

2007年当初、全国で200以上を数えた地域SNS（第1章）のうち、「どっとねっと」とカバー部分が最も近く、参加者のダブリもある「札幌っ子」と比較した結果を表3-2示しましたが、これによると、参加者数の規模（平成19年10月17日現在）は3分の1である「どっとねっと」が、ある期間の書き込みで逆に2倍以上あり、アクティブライターの書き込み数は10倍程度と、日常的に積極的なアクセスが継続して行われている状況がわかります。

3-1-2 参加者の募集方法と実際について

「どっとねっと」は2008年3月31日現在、351名の登録者を数え、退会者を除いた参加者は297名でした。参加されるきっかけによって参加人数の伸びはいくつかの波をかぞえましたが、2006年の9月末の開設以来、募集の形態と参加のきっかけになるものはおよそ次のようなものでした。

口コミ

一番初期のコアになる方々は、当財団と業務上でつながりのある研究者やコンサルタント等関係者、職員の知人などのなかから、ITやネットコミュニケーションに関心のありそうな方々を中心にしてメールでお誘いしました。ふり返ってみると、この口コミが基本となって、2次、3次の参加者勧誘につながっていったという実情があります。のちにも触れますように、いたずらや悪意の書き込みが全くない、というサイトの安定は、参加者の多くが誰かの知人である、というこの「口コミ&会員方式」が原因と思われる。

新聞等メディア、広報誌

もっとも急激に登録者が増えたのは、発行部数3万部の業界紙に記事が載った時でした。一日で約550という、当時としては驚異的なアクセス数をカウントし参加者も増加しましたが、現在アクティブライターになっている人または時々でも書き込みを続けている人はいません。これは特筆すべきことです。

発行部数約7,000の開発協会の「開発こうほう」の記事が出たあとでは、100アクセスを数えました。開設後まもなくのまだ目新しい時期の紹介でしたが、こちらは、現在のアクティブライターも含まれています。しかし、開発行政等に関わる現役の公務員の参加はほとんどありませんでした。

なぜこのような傾向になるかは、推論の域を出ませんが、まず、mixiを想像して参加される人から見ると、話題の広がりや遊び気分を満足させるようなバラエティやアトラクションに乏しいことが挙げられるのではないかと思います。しかも日記を散見すれば、長文が混じりテーマも「比較的まじめ」か、「かなりまじめ」に見えるはずです。これは特別な目的意識でもないと入れないのかもしれない。

一方、公務員の方々からの反応を仄聞してまとめますと、書き込みの「素顔」(表向きの顔)が、日常ネタで彩られている(ように見える)ためか、公務員が公器として利用しようとする動機が得にくい点があるようです。また、職場によっては職場のPCからはアクセスできない役所もあり、昼休み等休憩時間を利用した閲覧、書き込みができない、というハンディもあるようです。

このように、「どっとねっと」は、ほんの少人数で動いている間に狭いニーズの「ニッチ・ネット」になっている可能性があります。輪が小さいことのメリットもデメリットももちろんありますが、「居心地がよい」という評価に隠れて、デメリットが叫ばれることはありませんでした。このように口コミで広がるネットワークは、爆発的な早さや拡大はない代わりに、かなり、信頼性の高いネットワークをゆっくりと形作るのではないかと見られることから、地域SNSのコミュニティを形成するアプローチとしては、これもひとつの方法であるという点も注目しておきたいところです。

mixi、「ごろっとやっちょろ」など外部のSNSからの参加

現在、問題解決型のコミュニティにおいて積極的書き込みをしている方のひとつの

ケースがこれです。mixi に設けた「北海道を語る中高年限定サロン」には北海道出身で郷里の将来に関心が高い人、定年後Uターンして来た方、海外に住む北海道出身の方などが、検索機能を用いて参加されました。その北海道に対する思いは「どっとねっと」の意図するところと同じだったため早速当ネットに勧誘したところ、そのまま「どっとねっと」に移動し、「定住」されるようになったものです。道外にいて北海道に今なお関心を持ち続けている意識の高い人は少なくないことがわかった次第です。一方、mixi のコミュは一時開店休業状態となりましたが、現在は再開しており北海道のちょっとしたアンテナショップのような様相を呈しています。

また、八代市の「ごろっとやっちょろ」、福岡の「VARRY」から口コミで参加した人も大勢いらっしやいました。橋渡しをするキーパーソンの存在がとても大きいことがわかります。もちろん、当方から向こうへ参加している人も少なくありません。ただ地域SNSが日常の地域ネタを中心に展開することが影響するのか、開設時から一貫して書き込みしている人はオフ会で顔を合わせたことのある一握りの人で、多くは一過性の参加と見られています。

地域SNSリスト、インターネット検索など

総務省関係のレポートに北海道の地域SNSのひとつとして「どっとねっと」がURL付きで紹介されてから、地域SNSというツールに興味をもつ「プロ的な」「ライター」が何人が登録しました。この方々は基本的に書き込みはしないで表（おもて）をちょっと閲覧するだけのようです。恐らく、毎日の書き込み頻度や日記のネタのジャンルなど傾向を時折観察するための参加だと思われます。Google の検索でも、地域SNS一覧があり、そこからアクセスされる方も居るようです。ビジネスの一環として手を組もうと提案してきた方もいます。

3-1-3 「いたずら」について

参加者によるいたずらの形跡は認められませんでした。ちなみに、冷やかして入会される場合は、ニックネームや年齢が一見してオチャラケ系ですのですぐ判明します。いずれにしる、この少人数では、いたずらの意欲も半減するのかもしれない。

3-1-4 参加者 300 人前後という参加者規模について

業界紙による報道以外は、口コミが主体だったために激増と言うことがほとんどなかったことは上で述べたとおりで、あとは唯一組織的に動きのあった洞爺湖サミットのコミュ会議室（道経連が事務局）が立ち上がったとき 20 人程度が一挙に参加した程度です。爆発的な参加がSNS開設運営の成功とするならば、「どっとねっと」は超ミニサイズですから、失敗のジャンルに入れられそうな、とるに足らない規模であることは間違いありません。ただ、参加者ネットワークが爆発的に拡大しないものの、ネットワークの質に注目しようとしてきたねらいのまま、今も口コミ等で漸増傾向を示している現状をみると、メディア

に頼らないこのような方法もやはりひとつの実験的試みと割り切ることもできそうです。シニアネットの関係では、実際、参加者の上限をこじんまりとした 500 人としているところもあるようです。なお、参加者約 3000 人の「ごろっと」の主催者側関係者は、口コミが最も確実な方法でありベースは口コミだと述べています。

しかし、公共の広報ツールとしての役割を持たせようとした場合には、この規模はかなり物足りないもののようです。八代の「ごろっとやっちょろ」では、市の広報ツールとしての位置づけは極めて小さく、もっぱら市民のコミュニケーションツールという位置づけです。そこから、イベントやボランティア、オフ会を含むさまざまなコミュニケーションが始まっています。

広報の方法、適正規模、いたずらの発生度などから、今後、「どっとねっと」がどの程度の規模を想定し目指していくべきかは、おおむね次のような場合が考えられます。

- 1) 多様なコミュニケーションを目指し、交流による効果を大きくするためにさらに参加者を拡大するべく、メディアなどへの発信の機会を探していく。
ex.当面の目標を 1000 人程度。
- 2) 参加者協働のシステム運営により、低コストを含めた平均年齢の高い独特のコミュニティ形成という現実をそのまま社会実験ととらえ、急激なメンバー拡大を目指さない。口コミを中心とする。全道レベルへ努力。
ex.当面の目標を 500 人程度。
- 3) 特に目標は設けない。このまま素顔の自然体で運営を継続していくうちに、メディアの注目を集めて報道などがなされ、新規加入者が出てくるような場合は拒まず、実験的運営の主旨を理解してもらって登録・参加してもらう。全道レベルへ努力。

この中から選ぶとすれば、2) または 3)によって差別化していく方向が総合的にみて当ネットには似合っているのではないかと考えられます。その発展形態として各地に地域 SNS を創出していく「応援の母体」または「中高齢のコミュニティモデル」という位置づけも可能で存在意義もあるように見えます。

3-1-5 交信上のトラブルについて

書き込み内容が原因で、トラブルらしいものが発生したことは特にありません。意見の食い違いはままあり、「どっとねっと」を止めた方も複数います。「マイフレンド」として登録をしあったのに、ある書き込みが原因で一方向的にマイフレンドを取り消したり（取り消されたり）種々書き込まれた日記全体を削除したりする場合に、クレームが出たのが発端になっているようです。当人同士の話し合いで解決したケースもあります。当人同士が 1 対 1 のメール等で話し合ってもらいたい、と毅然とアドバイスする参加者も複数いました。

3-1-6 「まじめさ」と「入りやすさ」「書きやすさ」とバランス維持について

当然のことですが、まじめな日記やコミュには限られた人のみ参加し、レスしています。一方、もっと日常的な記事、あるいは誰でも関心を持てる文化的なジャンル、ショッキングなニュース（政治も含め）あるいはトピックにはアクセスが集まり、当然ながらばらつきが多いのは現実です。問題解決型の地域SNSとしては、「ここぞ」というときに意見を述べ合い、互いが参考にしたり合意形成ができるかが鍵だろうと思われれます。通常の場合、のべつまくなしに「北海道の開発計画」や「日本の社会や将来」等について語り合うのは実際は苦痛であり、日記上でフランクな日常的な会話があってはじめて問題解決のステージが築かれることが、次節の「日記分類とコメント」のグラフ（図3-4）から読み取れます。

このように、「日常のつきあいは、『もしかの相談』の乗り物」と考えられるようになり、日常ネタの書き込みの多さが、問題解決型の意見を支えもするということが見えてきます。全体のバランスがどう変動するのかは、参加者の書き込みに今後とも依存しますが、新しいコミュニティの立ち上げなどにより、ときには管理者側が参画することによって日常的書き込みでは一見隠れたままの「問題解決型という当初の目的」に引き寄せるというケアも場合によって必要かと考えられます。（草苺 健）

3-2 ネットコミュニティの現状と地域利用

SNSには同好の方が集う「コミュニティ」（以下、コミュ）を形成する機能がありますが、mixi 利用者の間でもコミュの使い方がよくわからない、と言う人がいます。参加する場合は加入手続きをして、トピックに書き込んでいだけですが、自ら管理人として運営していく際には、トップの開設主旨とかトピックの切り回しなどに多少のテクニックが求められるかも知れません。

それでも、当ネットには、平成20年3月末日現在、コミュニティ数は45件あり、テーマは地域、娯楽、生活、スポーツなどのほか、環境問題や北海道のあり方など幅広い分野にわたっています。日記も日常生活、自然・環境、食、家族・ペット、仕事、健康など身近な分野が多い反面、時事ニュース・社会問題なども分野としての書き込み数も多くなっており、問題解決型SNSという側面も幾分持っていると考えられます。

会員1人当たりのコミュニティ数が多く、しかも、中規模のコミュニティが多いなど、一見、コミュニティが健全な発展形態を示しているように見えます。次の表は平成19年10月のデータですが、「どっとねっと」のコミュニティは、会員5.6人に1つのコミュニティがあり、会員1人当たりのコミュニティ数は「札幌っ子」と比較するとその3倍になっているようです。また、5人から20人未満の中規模コミュニティが31件で68%で約7割を占めています。

会員数が少ない段階では、コミュニティに書き込む人が同じメンバーになってしまったり、日記によるテーマ立てをして議論したほうが有用な場合もありますが、日記での日常の交流を重ねることにより、会員がサイトのメンバーの嗜好などを汲み取っていくことにより、そのサイトに応じたコミュニティを立ち上げ、会員同士で深くテーマを追求していくとする傾向も出てきているようです。その例として、artさんの「応援日本ハム」、おていさんの「絵本」などが挙げられるでしょう。このようなことから、コミュニティの活発度はメンバー数と明らかに相関するものではなく、会員同士の日常の日記交流の積み重ねなどお互いをよりよく知りあうことによって、コミュニティが活発化したり、より、会員の嗜好にあったコミュニティが発展していくことが考えられます。

「どっとねっと」のアクセス分析は3-3で詳しくみてみますが、その前に「どっとねっと」にやや先行して開設された地域SNS「札幌っ子」と比較するとその特徴が鮮明になり、それらを列挙してみたのが下記です。

(どっとねっとは)登録数増加がゆっくり穏やか

会員1人当たりの日記の書込みが多い

アクセス件数が多く、交流が活発にある

会員1人当たりのマイフレンド数が多い

会員1人当たりのコミュニティ数が多く、しかも、中規模のコミュニティが多い

書き込み・アクセス、コミュニティ件数等 SNSの活発度合(平成19年10月17日現在調べ)。

平成20年3月末現在、50を越えたコミュが存在していますが、SNSの機能をうまく使った特徴的なものとして、「写真大好き人間 大集合!!」と「冬あそび in どっとねっと 2008」(いずれもowlさんが開設)があります。特に後者は、居ながらにして自宅の庭や近隣でみた雪のオブジェや明かりを、ミニ雪祭りとして写真コンテストを行うものでした。また、「どっとねっと」の立ち上げ後、半年ほどして、SNSを楽しみながら「どっとねっと」をPRするキャッチを募集するコミュも、参加者がどう感じているかが如実に伝わってくる企画でした。このようなアイデアは恐らく無尽蔵にあるはずで、この上手な活用は今後の課題と言えるでしょう。

とりわけ、北海道全域を対象とする「どっとねっと」としては道内の180ほどある自治体の多くに、ランチのような地域コミュが生まれなかと期待されてきたのですが、これは参加者が得られず、結果的に自治体数では20件前後に留まっています。「どっとねっと」をキーステーションにしたコミュニティを存在させる意味がそもそもあるのか、それもあらためて考えておく必要もあります。それは地域で、あるいは自治体を越えた広域であればいいことなのか、オール北海道と2層になっているのがいいのか、それともさらにオールジャパンのmixiのようなSNSと併用した方が面白いのか、さらにいろいろ比較検討してみる必要もあります。

表 3-1 書き込み・アクセス、コミュニティ件数等の比較（平成 19 年 10 月 17 日）

	内容	詳細	北海道SNSどっとねっと	備考	札幌っ子SNS	備考	どっとねっとの総括
登録数状況	平成19年10月17日	メンバー検索による	254人	札幌っ子SNSの0.32で約3分の1	789人	どっとねっとの3倍	登録数が健全な発展を示している。
	過去1年間の会員増加数						
	開設から1月ごとの平均メンバー入会数						
日記の書き込み数	過去3ヶ月間の日記件数(8月17日～10月16日)(91日間)		708件	札幌っ子の2倍の数メンバー1人あたり2.78件/3ヶ月 メンバー1人あたり札幌っ子の6.3倍の書き込み	349件	メンバー1人あたり0.44件/3ヶ月	1人当たりの日記の書き込みが非常に多く、SNSに熱心
	過去400件の日記件数に到達するまでの日数		2月+2日(32日)		3月+7日(98日)		
	10月16日		12件		2件		
	10月15日		11件		7件		
	10月14日		8件		9件		
アクセス数(10月16日調査前日)	トップ10人の総アクセス数	10月16日	440アクセス	札幌っ子の約10倍 メンバー1人当たりだと札幌っ子の30倍のアクセス	46アクセス		アクセス件数が多く、交流が活発
	10アクセス以上		10人全員		1人	14アクセス	
	5以上～10未満			トップ10の人には10未満のアクセス数の人はいない。	3人		
	2以上5未満				3人		
	1アクセス				3人		
	トップページへのアクセスが多かったメンバー(トップ10)	10月16日	第1位 owlさん:82アクセス 第2位 takeさん:75アクセス 第3位 おていさん:61アクセス 第4位 隊長さん:57アクセス 第5位 bunさん:39アクセス 第6位 オカリナねえさん:33アクセス 第7位 のぶりんさん:32アクセス 第8位 Otsucarさん:25アクセス 第9位 こままささん:18アクセス 第10位 金魚さん:18アクセス		第1位 ているさん:14アクセス 第2位 べあーさん:7アクセス 第2位 Red catさん:7アクセス 第2位 chabooさん:7アクセス 第5位 アンドラさん:3アクセス 第5位 ごっこさん:3アクセス 第7位 よっしーさん:2アクセス 第8位 hikkyさん:1アクセス 第8位 NO-VAさん:1アクセス 第8位 Otsucarさん:1アクセス		
マイフレンド数	マイフレンド数の多いメンバー トップ10のマイフレンド総数	管理者のマイフレンドを含む	540人	どっとねっと案内人のマイフレンド211人	981人	管理人べあさんのマイフレンド758人	マイフレンド数が多く、人間関係が濃密(良好)
	マイフレンド数の多いメンバー トップ11のマイフレンド総数	管理者のマイフレンドを含まない	329人	メンバー1人当たり約1.5倍のマイフレンド数	223人		
	登録されているマイフレンドの数 トップ10のメンバー		第1位 どっとねっと案内人さん:211人 第2位 takeさん:74人 第3位 owlさん:60人 第4位 コリンのママさん:40人 第5位 グリとグラさん:37人 第6位 隊長さん:25人 第7位 のぶりんさん:24人 第7位 キャロルさん:24人 第9位 Otsucarさん:23人 第10位 おていさん:22人		第1位 べあーさん:758人 第2位 ているさん:45人 第3位 よっしーさん:38人 第4位 エンジェルさん:31人 第5位 あわちゃんさん:20人 第5位 ひとみさん:20人 第7位 ひるりんさん:19人 第8位 yoh-chanさん:17人 第8位 らいおんさん:17人 第10位 Otsucarさん:16人		
コミュニティ数の状況	コミュニティ総数		45	会員56人に1つのコミュニティがある 会員1人当たりのコミュニティ数が札幌っ子の3倍	58	会員13.6人に1つのコミュニティがある	会員1人当たりのコミュニティ数が多く、しかも、中規模のコミュニティが非常に多いなど、コミュニティが健全な発展形態を示している。
	コミュニティ参加延べ人数		428人	1コミュニティ平均9.5人参加	740人	1コミュニティ平均12.7人参加	
	10人以上参加のコミュニティ		17		27		
	1人だけのコミュニティ		3	1人コミュニティが少ない(コミュニティの発展が健全)	8	1人コミュニティが多い(1人善がりのコミュニティ)	
	100人以上		0		1	102人(マイフレンド増やしたい)管理人が管理している	
	50人以上100人未満		0		1	58人(札幌の美味しい処)	
	30人以上50人未満		2		4		
	20人以上30人未満		2		4		
	10人以上20人未満		13		17		
	5人以上10人未満		18	5人から20人未満の中規模コミュニティが31件68%7割で非常に健全な発展形態を示している。	5	5人から20人未満の中規模コミュニティが21件36%4割で非常に偏った形態を示している。	
	4人		2		2		
3人		3		4			
2人		2		12			
1人だけのコミュニティ		3		8			

表 3-2 コミュニティの種類と数

	分類(カテゴリ)	数	内訳
どっとねっと	ほっかいどう井戸端会議	11	まず立ち寄り(2) - 何でも書き込み(9)
	地域	19	北海道の開発(1) - 北海道の市町村(12) - 北海道の旅と食(0) - 北海道の観光・物産(1) - 北海道の祭り・イベント(1) - 北海道の文化・芸術(0) - 北海道の自然(1) - 北海道への移住(0) - 北海道の産業・経済(0) - 北海道の暮らし(2) - 北海道の人(0) - 北海道の問題・課題(1)
	ファンスポーツ	1	コンサドーレ(0) - 日本ハムファイターズ(1)
	娯楽	7	音楽(2) - 映画(0) - スポーツ(1) - ゲーム(0) - 本(1) - マンガ(0) - 旅行(0) - 車・バイク(1) - 占い(0) - 趣味(1) - 動物(1) - ペット(0)
	知識	1	PC(0) - インターネット(1) - 学問・研究(0) - ビジネス・経済(0) - アート(0)
	生活	3	グルメ・お酒(2) - ファッション(0) - 健康(1)
	グループ	1	学校・会社・団体(0) - サークル・ゼミ(1) - 同年代(0)
	芸能	0	芸能人・有名人(0) - テレビ番組・お笑い(0)
	イベント	2	オフ会(2)
	その他	0	
	合計	45	
札幌っ子SNS	イベント	5	イベント(2) - YOSAKOI ソーラン(1) - 雪祭り(1) - コンサート(1)
	お役立ち	2	お譲りします(1) - 探しています(0) - 教えてください(1)
	ビジネス	8	キャンペーン・募集(1) - 交流(3) - 求人・求職依頼(3) - 受注・発注依頼(1) - さっちゃん族(0)
	地域	7	札幌市東区(1) - 札幌市西区(0) - 札幌市南区(3) - 札幌市北区(0) - 札幌市中央区(2) - 札幌市豊平区(1) - 札幌市白石区(0) - 札幌市手稲区(0) - 札幌市清田区(0) - 札幌市厚別区(0)
	応援	2	コンサドーレ札幌(1) - 北海道日本ハム・ファイターズ(1)
	札幌探訪	3	見つけた・初めて知った(2) - 再認識した(1)
	娯楽	11	音楽(5) - 映画(0) - スポーツ(0) - ゲーム(2) - 本、マンガ(0) - 旅行(1) - 車、バイク(0) - 占い(0) - 趣味(1) - 動物、ペット(2)
	知識	4	PC、インターネット(3) - 学問、研究(0) - ビジネス、経済(0) - アート(1)
	生活	9	地域(2) - グルメ、お酒(4) - ファッション(3)
	グループ	1	学校(0) - 会社、団体(0) - サークル、ゼミ(1) - 同年代(0)
	芸能	2	芸能人、有名人(0) - テレビ番組(0) - お笑い(2)
	その他	4	自己紹介(1) - マイフレンド募集(2) - 運営(1)
	合計	58	

少なくとも現在のところは、土地勘のある者同士が、全国的SNSとは別に本音を語りやすい、地方の限られたエリアの価値観をある程度共有したようなSNSを並立させることは便利である、ということだけは確かです。実際、両方を使いこなしながら、情報交換をしている友人知人も多いことから、様子を見て相補っていく意味は充分あります。

(小椋護、草苺健)

3-3 アクセスの推移から読む活性化のヒント

ここでは、参加者のプロフィールと開設以来のアクセスデータを中心に、「どっとねっと」の現状をみてみます。そのようなデータから、活発な運用を持続する、いわば「地域SNS活性化のヒント」のようなものを掴んでみようというのがねらいです。

3-3-1 会員の基本属性（性別と年齢層）

まず、参加者の性別です。数字は平成20年3月31日現在のものです。会員の性別は次の表のとおりですが、記入していない方が半分いるために、結果的には資料になりませんでした。性別の表記は開設時の登録の際の、必須事項にするべきだったでしょう。直近の「最新日記」を何十件かチェックした範囲では、アクティブなメンバーの書き込みのうち2~3割が女性ようですが、書き込みというのは、日記を自ら書き込む場合と、他のメンバーの日記に感想を載せるレス（ポンス）も含めると、どうなっていくか興味のあるところ

表 3-3 会員分類内訳 単位：人

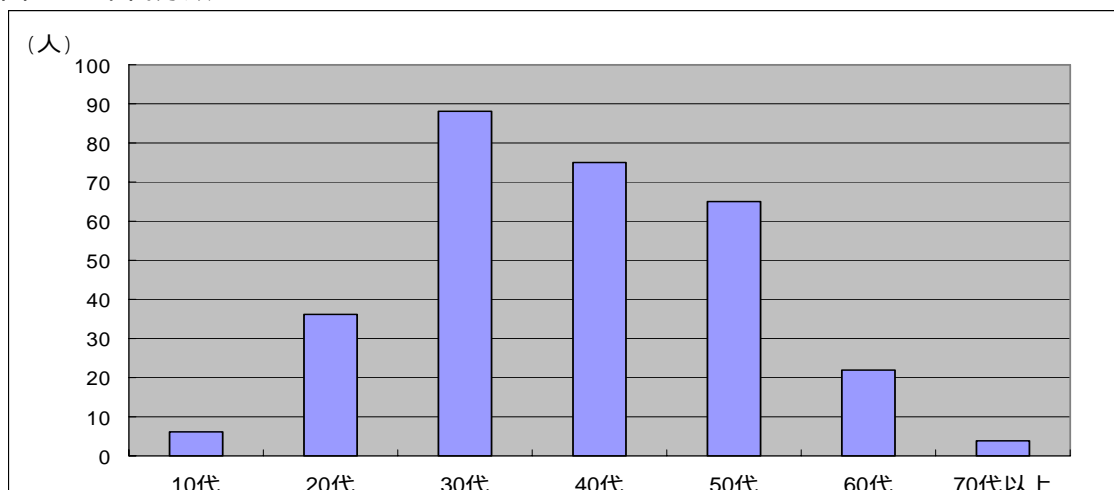
男性	女性	不明	合計
102	44	150	296

年齢をみると、虚偽申請でない限りはそのまま年齢がでますから、平均は次のとおりとなりました。全体の平均が42.7歳ということになります。

表 3-4 平均年齢 単位：歳

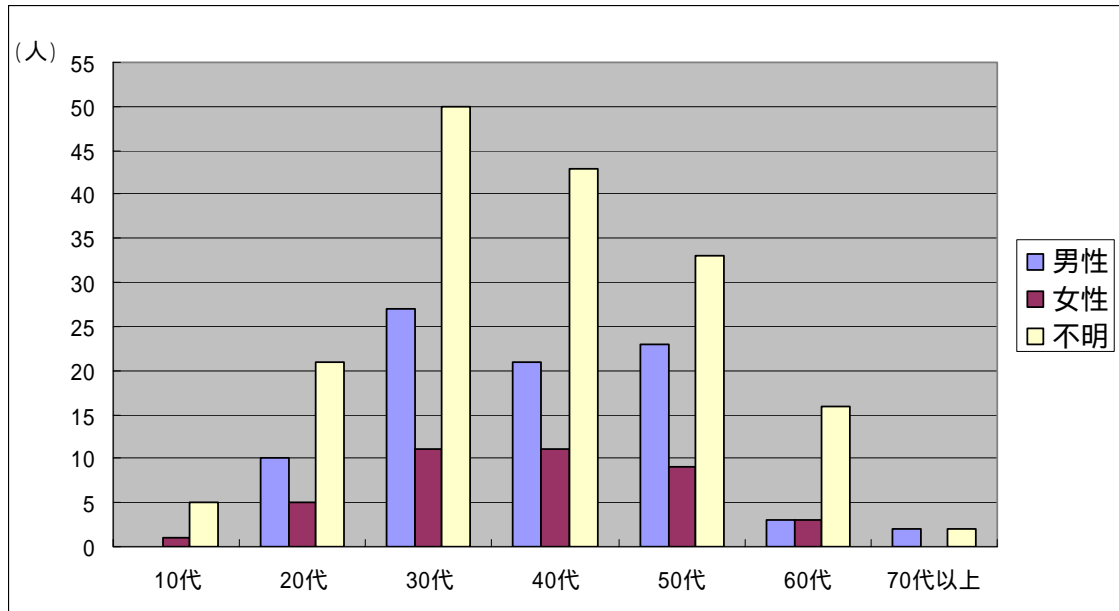
男性	女性	不明	全体
43.4	42.3	42.4	42.7

図 3-1 年代分類



年代別にグラフ(図 3-1)をつくってみると 30 代が最も多い層になります。しかし実際には、30 代の会員でアクセスされるのは大変まれなようです。

図 3-2 性別の年代分類



3-3-2 アクティブライターの基本属性

ユーザーの平均年齢は全体で 40 代前半で、比較的高目の年齢層であることは上で述べましたが、男女とも 30 代から 50 代が多く、全体の 77%を占めています。これだけでも、一般に言われている SNS の利用者層としてはちょっと高いと推察されますが、さらに日常的に書き込んできたアクティブライター 20 人に絞ってみると、男性は 52.1 歳、女性は 50.9 歳となります。どの時点でアクティブライターをとるかによって、当然ながら、日常的なやりとりをしている年齢層は流動しています。恐らく、その週、その月の話題によって上下している可能性は大きいと思われます。いずれにしても、日常的に書き込みをされる方々が 40 代から 70 代で平均 50 代前半ということは、日記やコミュの内容に大きく反映されているはずですから、この年代層に共感を持たない新規登録者は、瞬時にして「どっとねっと」の特色を見抜いているのではないかと思います。逆に、よそであまりない年齢構成のにおいに親しみを覚える方も、瞬時にして識別されるだろうと思われます。これは「どっとねっと」の特徴といえます。

表 3-5 に、アクティブライターの日記とコミュニティへの参加状況を性別と年齢で表記しました。日記に関しては男性ユーザーからの投稿が多いのですが、コミュニティでは男女数が比較的近い数値となっています。

開設から平成 20 年 3 月末までの間で、特定のコミュニティにのみ参加されている人もいます。

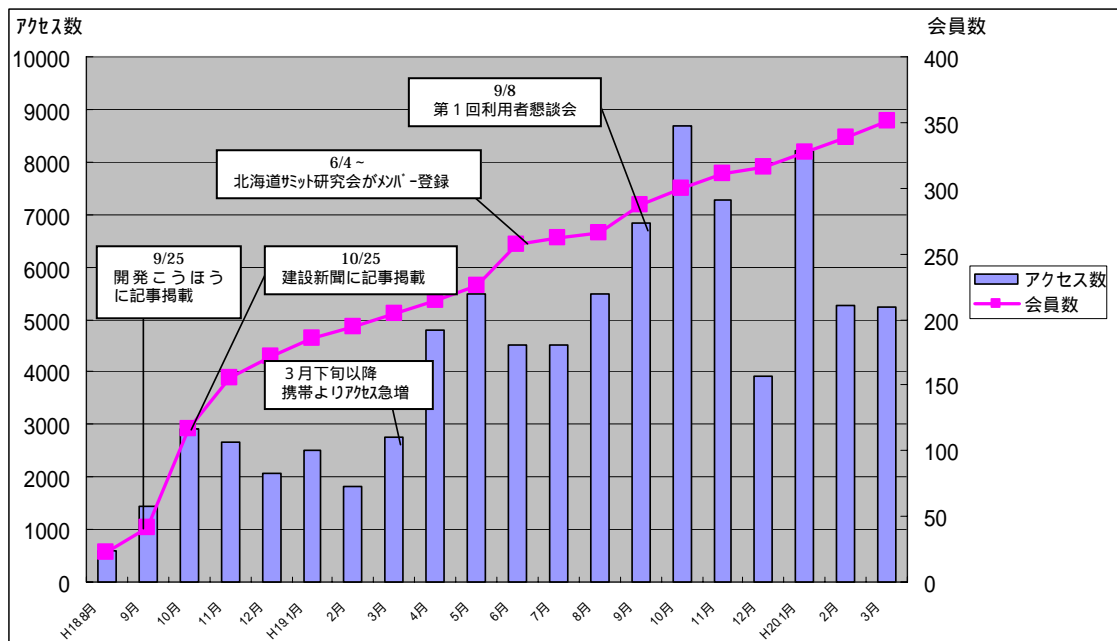
表 3-5 アクティブライターの構成

	日記		コミュニティ	
性別	男:14名	女:6名	男:12名	女:8名
平均年齢	52.1歳		50.9歳	

3-3-3 アクセス数と登録数の推移

アクセス数と会員数（ユーザー数）の伸びは、財団の広報誌「開発こうほう」や業界紙（建設関係の新聞）への掲載、携帯電話での利用を可能にしたシステムの更新（平成 19 年 3 月）利用者懇談会の開催など、管理者側からの広報・告知の動きに対してそのつどしっかりとした反応があることがわかります。平成 19 年 10 月にみられる急激なアクセス増は、九州の H さんがきら星のようにデビューし多くの会員に歓待されたことが反映しています。これをわたしたちスタッフは「H さん現象」と呼びました。

図 3-3 月別アクセス数と会員登録累計数の推移 (H18 8/1 ~ H20.3.31)



また、デビュー当初、もっぱら携帯から丹念に「どっと」を覗いてくれた H さんのアクセスによって、携帯電話からのアクセスが、ページを巡るごとに 1 カウントを数え、急激にアクセス数が伸びることも発見しました。一方、平成 20 年 1 月は、日記の取り扱いに関する会員同士の意見のやりとりが多かったことの影響で突出しています。このようにアクセス数は、折々のトピックに敏感に反応して月によって高い数値を示すこともありますが、基本的には月間 5,000 アクセス前後で推移しているといえます。

3-3-4 コミュニティの内容

「どっとねっと」内のコミュニティは次のような内容になっています。

表 3-6 コミュニティの詳細 (H20.3.31 現在)

カテゴリ		コミュニティ数	参加人数	トピック数	レス合計
ほっかいどう 井戸端会議	まず立ち寄り	2	12	2	53
	何でも書き込み	9	58	13	312
	環境	2	11	7	87
地域	北海道の開発	3	27	28	212
	北海道の市町村	12	66	75	279
	北海道の観光・物産	1	10	4	9
	北海道の祭り・イベント	2	27	11	79
	北海道の自然	1	4	1	0
	北海道の暮らし	2	20	12	97
	北海道の問題・課題	1	8	7	15
ファンスポーツ	北海道日本ハムファイターズ	1	17	10	545
娯楽	音楽	2	16	8	43
	スポーツ	1	4	1	3
	本	1	28	9	131
	車・バイク	1	15	7	223
	趣味	1	23	12	396
	動物	1	4	2	11
知識	インターネット	1	11	5	9
	ビジネス・経済	1	1	1	2
生活	グルメ・お酒	2	49	18	307
	健康	1	8	5	22
グループ	サークル・ゼミ	1	14	4	106
イベント	オフ会	2	40	7	188
計		51	473	249	3,129

コミュニティについては「3-2 ネットコミュニティの現状と地域利用」で述べたので重複を避けますが、コミュニティの利用はまだ「発展途上」で、いろいろな可能性が秘められていることは間違いありません。コミュニティで扱われるテーマに深みがあるために、急増することは恐らくありませんが、ジワジワ継続的に進んでいくテーマであれば、過去のやりとりもおさらいできるために、問題解決、あるいは意見集約のツールとして期待される

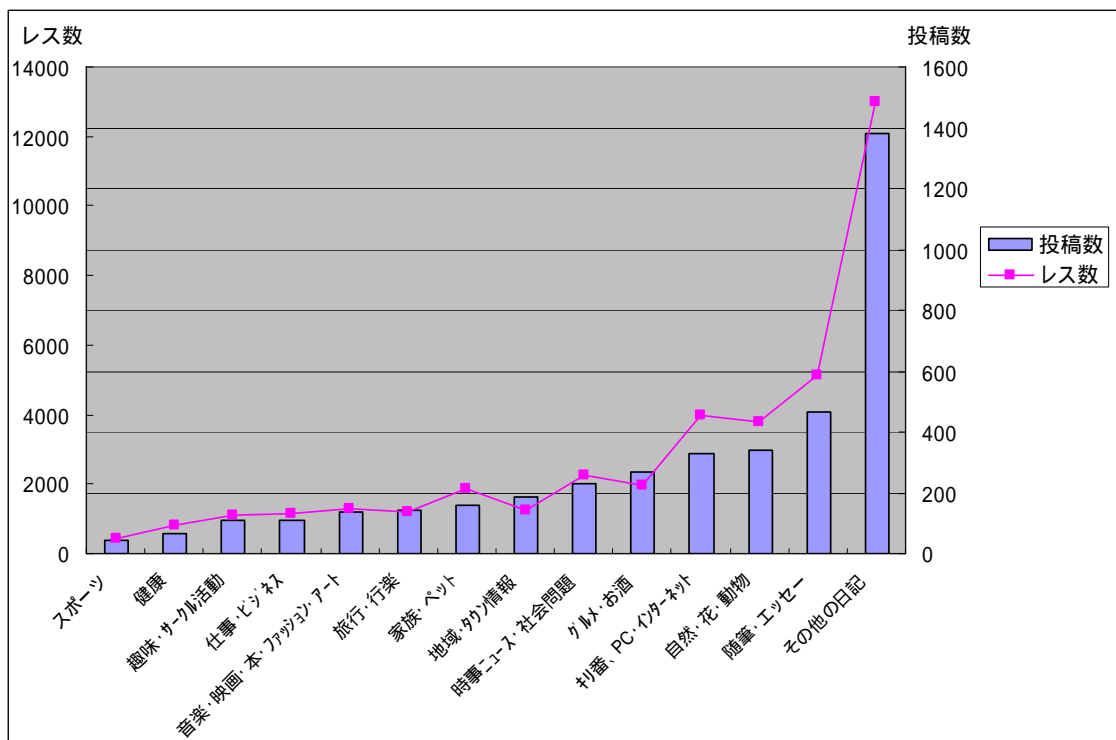
のは当然と言えます。全体的に緩やかな動きとなっていますが、コミュニティ数では意図的に各地のコミュニティを立ち上げた結果として「北海道の市町村」が最も数の多いコミュニティとなりました。ここでは道内の各市町村のコミュニティがあり、地域の情報を積極的に発信しているコミュニティもあるものの、どちらかという低調な部類です。

レス数では、全体の入り口となる「なんでも書き込み」や「北海道日本ハムファイターズ」、趣味に特化した「車・バイク」や「趣味（写真に関するトピック）」、「グルメ・お酒」が多いのが特徴です。

3-3-5 ジャンル別日記書き込み数

もっとも日常的にやりとりされる日記とその内容などについては、次の3-4で詳しくみることにして、ここでは大きくジャンル分けしたものを示しましょう。最も投稿数の多い日記は、内容を限定されない、なんでもありの「その他の日記」でした。スポーツや娯楽、健康などテーマにこだわらず書き込む、まさに「日記」としての当然の結果です。投稿数とレスの相関は、全日記と全コメントを集計して平均すると、1件の日記に対して9.8件のレスが付けられています。

図 3-4 日記分類とコメント数（H19.4月～H20.3月）



平成 19 年 4 月から 20 年 3 月までの 1 日あたりの投稿数は 10.8 件で、ユーザーの関心がコミュニティよりも日記の方が高く、主に日記上で積極的に交流が行われていると言えます。

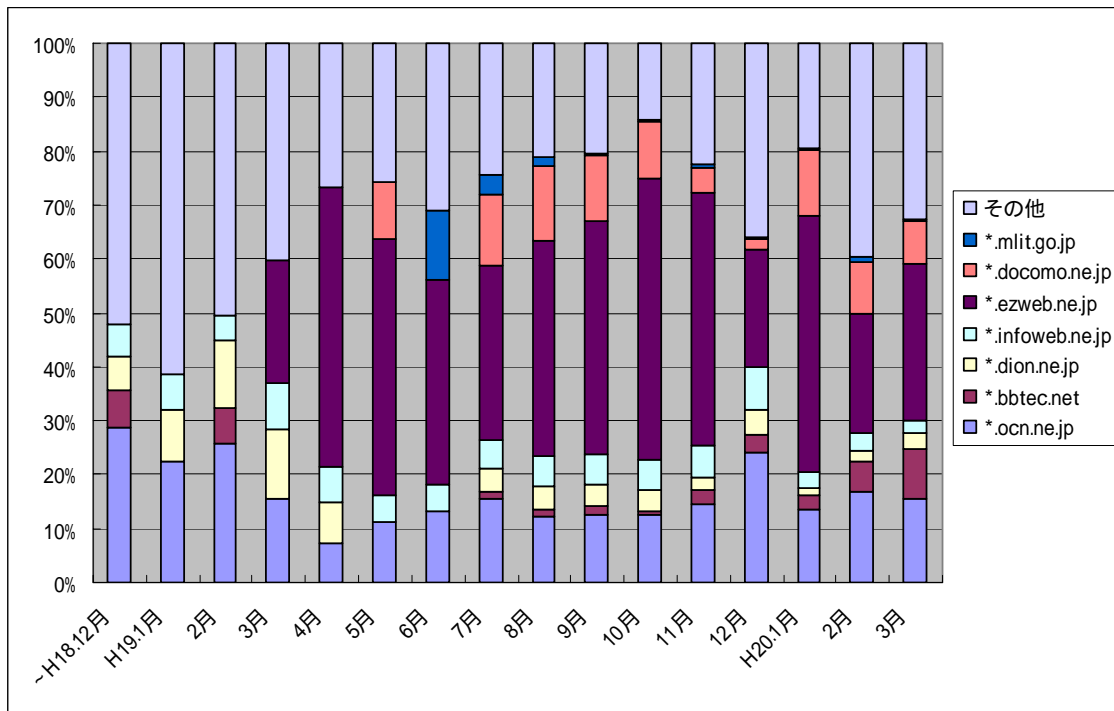
下記に日記及びコミュニティに積極的に投稿しているユーザーを「**アクティブライター**」として、各ライターの投稿状況をまとめてみました（H18.8月～H20.3月末）。「日記」の「投稿率」は、ユーザーの「どっとねっと」登録日以降の1日あたりの投稿数を表したもので、「1.0」が「1日1回の投稿」となり、参加期間に関係なく、どれだけサイト内で積極的に動いているかを表す一つの指数となります。その結果、日記、コミュニティとも積極的に投稿しているユーザーはほぼ同じであることがわかります。恐らく他人の日記へのレスの回数も多いと考えられます。

表3-6 アクティブライターの参加状況（H18/8～H20/3/31 現在）

	日記					コミュニティ			
	ニックネーム	参加 日数	投稿数	コメント数	投稿率 (件)	ニックネーム	参加 日数	参加コミュ ニティ数	書き込み数
1	owl	579	526	7,446	0.9	owl	579	29	561
2	take	602	408	4,895	0.7	art	602	8	385
3	Otsucar	499	360	4,296	0.7	take	602	40	368
4	キャロル	558	348	3,195	0.6	キャロル	558	10	355
5	bun	581	270	3,672	0.5	グリとグラ	602	32	211
6	隊長	340	270	3,655	0.8	コリンのママ	590	21	110
7	やっさ	543	263	1,421	0.5	Otsucar	499	34	110
8	コリンのママ	590	255	2,711	0.4	hana	510	11	95
9	のぶりん	544	214	1,511	0.4	bun	581	11	94
10	take3	332	204	1,119	0.6	みかん	320	10	92
11	こままさ	231	192	527	0.8	Easyrider	157	2	81
12	atu	602	164	1,602	0.3	おてい	320	12	79
13	ひろぼん吉	517	160	984	0.3	隊長	340	6	71
14	オカリナねえさん	502	139	1,145	0.3	金魚	319	10	71
15	Easyrider	157	135	826	0.9	かくちゃん	387	11	63
16	おてい	320	124	1,641	0.4	まーや	523	3	54
17	グリとグラ	602	110	1,471	0.2	のぶりん	544	15	54
18	snoopy	403	102	521	0.3	Helvetia	164	3	48
19	hana	510	86	329	0.2	snoopy	403	7	46
20	かくちゃん	387	55	539	0.1	atu	602	18	38

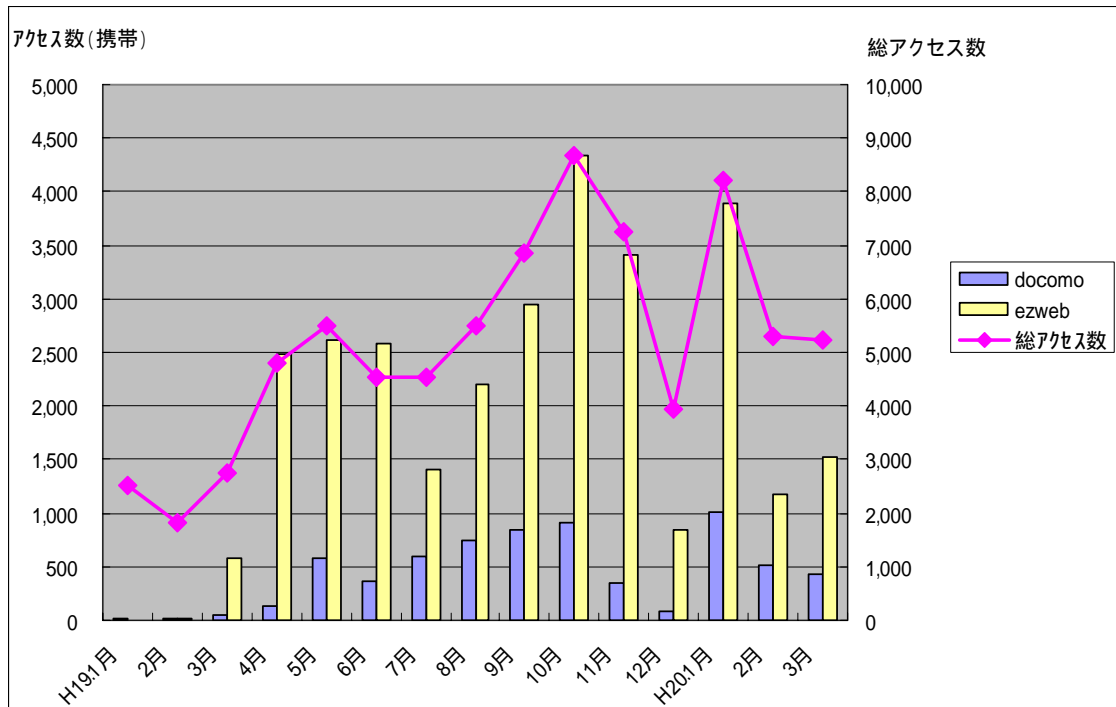
平成19年4月からアクセス数が大きく伸びているのは先の図3-3で示しましたが、その原因を探ってみると浮かび上がってくるのが、携帯電話の利用です。平成19年2月までは固定プロバイダからのアクセスが多かったのですが、ユーザーから「携帯端末（携帯電話）からも利用できるようにしてほしい」との要望が多かったため、携帯端末からも利用可能なシステム改編を行ったのが平成19年3月でした。下の図でわかるように、携帯電話が使われ出した平成19年4月以後は、携帯ホスト名に ezweb (au) や docomo (NTT ドコモ) が出てきます。アクセス数はこれを反映したものでした。ただ、前述のとおり、携帯はページをめくるたびに「どっとねっと」への1アクセスとカウントされるため、アクセスの実数とは言えません。携帯を使うケースが多くなればなるほど（例えば旅行など）、その月のアクセス数が増えるため、アクセスカウンターの意味はあまりなくなりました。

図3-5 ホスト別アクセス割合（月間）



携帯端末からのアクセスの増加が、全体のアクセス数にどのように影響しているかをもう少し詳しく図3-6にまとめてみました。携帯端末からのアクセスが可能となった平成19年3月以降の携帯端末によるアクセスの伸びが、全体のアクセスに大きく影響していることがよく分かります。携帯端末はPCに比べ普及率が高く（次ページ(注)参照）、気軽にアクセスできることから、携帯端末からのアクセスがサイトの数字上の伸びになり、携帯端末の存在は、「地域SNS」の活性化にとって大きな支えにもなると言えるようです。auの使用比率が高いのが特徴です。

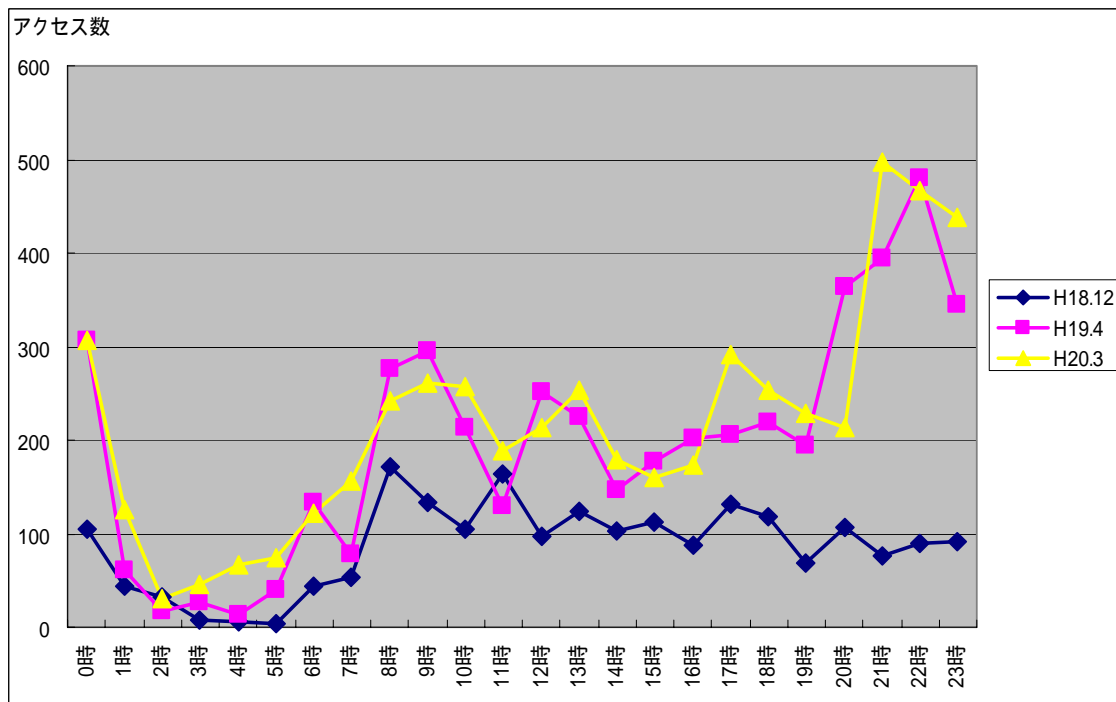
図 3-6 総アクセス数と携帯端末からのアクセス数の相関



(注)全国平均のパソコンの世帯普及率は69.3%、携帯端末(PHS 含む)は84.7%となっている。(総務省統計局「全国消費実態調査(2004年版)」より)

次の図は、メンバーがアクセスしている時間帯を見たものです。

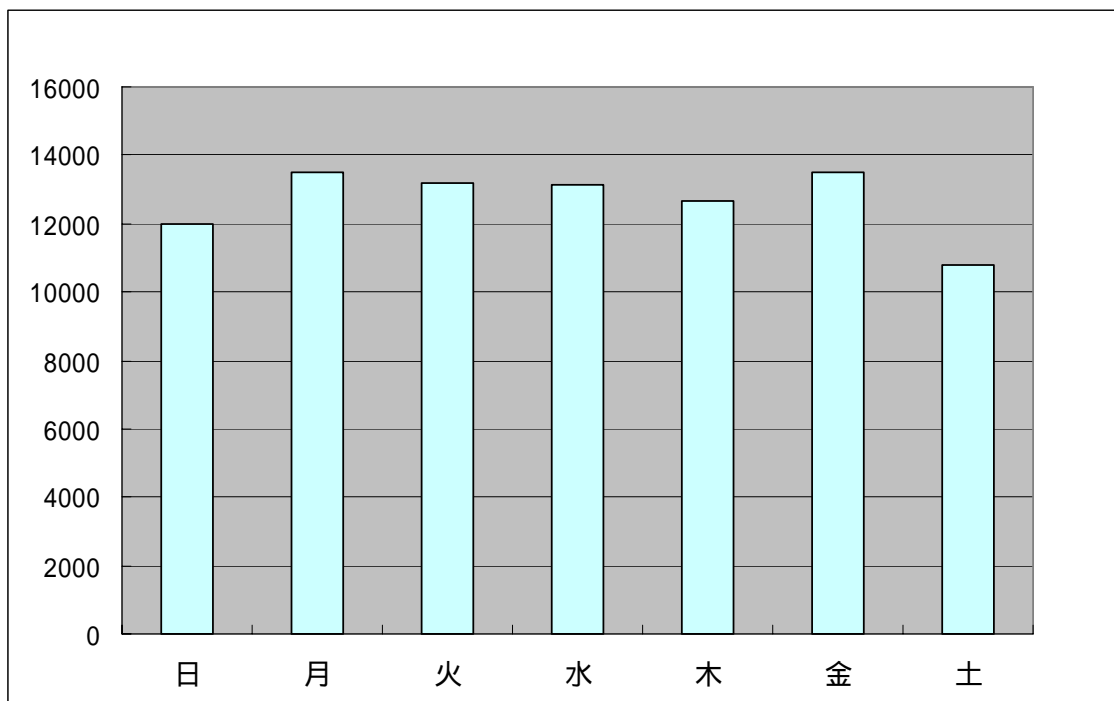
図 3-7 時間別アクセス数推移



固定プロバイダでのアクセスのみだった平成18年12月、携帯電話でのアクセスが可能となった翌月の19年4月、最新の20年3月の3期間です。ユーザー数の変化に応じて時間別アクセス数の推移も変遷がみられます。当初、一般的なサラリーマンスタイルなど見られていましたが、ユーザーが増えるに従って顕著な変化が見て取れます。参加者数が3桁になっている19年と20年をみると、アクセスが行われるのは、先ず、朝、出勤時です。職場の席について先ず書き込みを確認するのも知れませんが、そして、お昼の時間、さらに午後5時過ぎとなります。本番は20時から23時までの時間帯。0時から7時まではユーザー数にあまり関係なく低いアクセス数となっていますが、書き込まれた日記を読む限りでは、「どっとねっと」が完全に眠るのは夜中の3時前後ではないでしょうか。夜っぴて書き込む方は2時過ぎ、早起きの方は4時頃にもう書き込みが確認できます。これも中高年が主役の地域SNSの特徴かもしれません。当ネットにいろいろアドバイスをいただいた北海道大学情報基盤センターの南准教授は、「生活に一定のリズムを持った健全なユーザーが多い証拠だ」とコメントを下さいました。

曜日によるアクセス数(図3-8)に特に大きな差は見られませんが、ウィークデーに比べると日曜日と土曜日に若干の落ち込みがあります。これは、ユーザーの多くが家事や家族サービス、その他所用で忙殺されて、そのそもPCに向かわないことが考えられます。

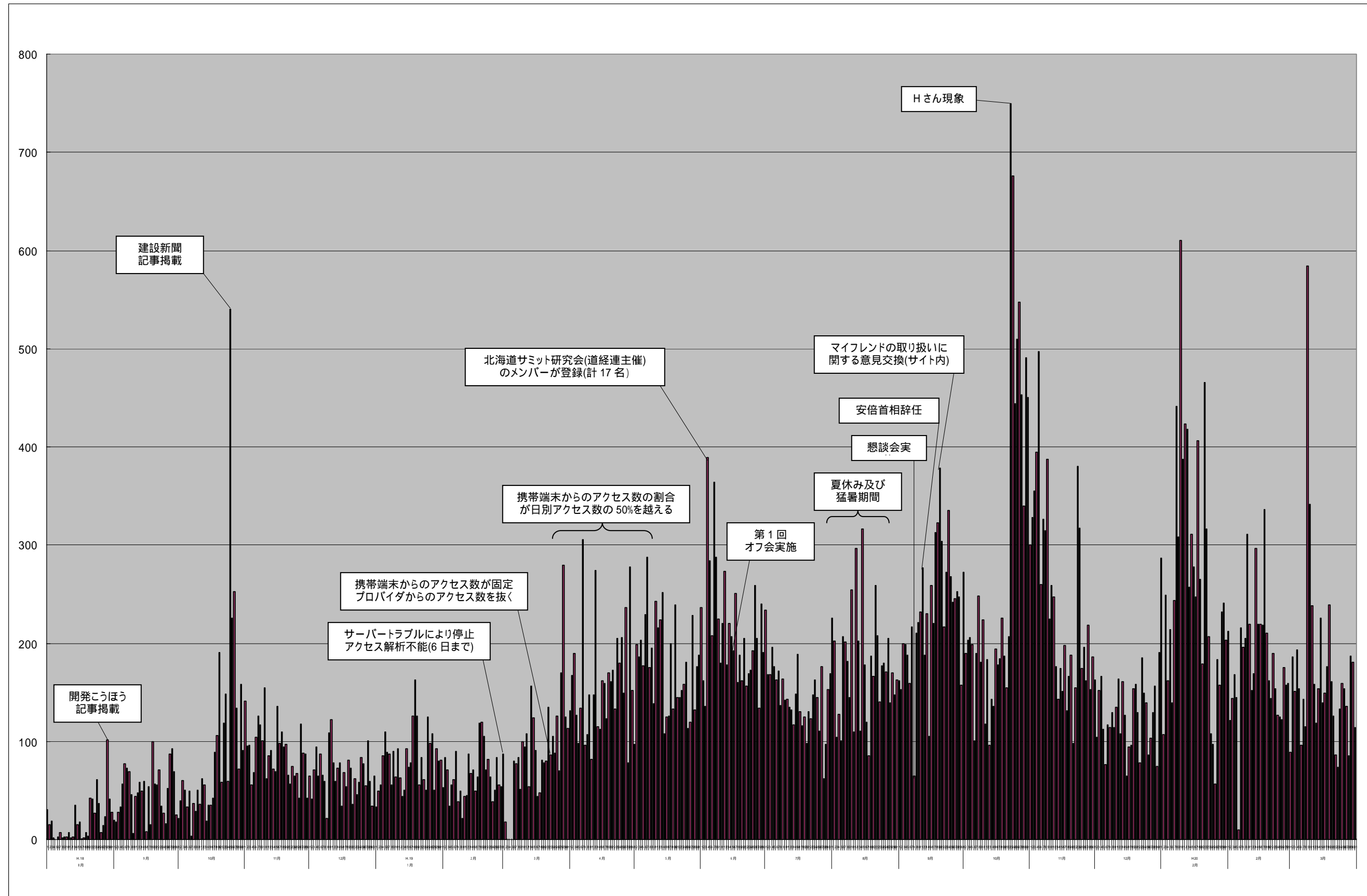
図3-8 曜日別アクセス数(H18.8~H20.3)



最後に、18年の開設以来の日別アクセスのグラフ（次ページの図 3-9）を示します。Hさん現象まで、内外折々のトピックに反応してアクセスは上下するのがわかります。20年2月以降の上下は、思い当たるトピックがありませんから、旅行中のメンバーが携帯からかなりアクセスされたという可能性もあります。

（齊藤新人、草苺健）

図 3-9 アクセス数の推移



3-4 日記内容分析

これまでの分析でも「どっとねっと」メンバーの日記内容の多様さやアクセス数の多さなどについてふれてきましたが、ここでは、数値的な分析ではなく、アクティブライター（過去の書き込み数の上位者）の年齢や職業など属性を把握し、書き込まれた日記を読みながら、「どっとねっと」の日記の内容面からの傾向を少し突っ込んで分析してみます。

3-4-1 アクティブライターの属性と日記内容（テーマ）

アクティブライターのうち参加登録の古い順に書き込み件数の多い17名を取り上げてみますと、年代は30代後半から70歳代で、50歳代が7人、40歳代が6人であり、40から50歳代の中年層が中核になっています。

職業は、自営業、会社員、農業、主婦、団体職員、公務員、地域活動家、既退職者など様々であり、特に自営業、主婦、既退職者など、比較的インターネットの閲覧や書き込み時間などに余裕があり融通が利く人が多いことがわかります。

表 3-7 アクティブメンバーと属性

メンバー	属性
グリとグラさん	40代 男性 自営業(事務局)
takeさん	50代 男性 団体職員(＼)
atuさん	50代 男性 自営業(＼)
コリンのママさん	50代 女性 大学教師
owlさん	50代 男性 自営業
キャロルさん	50代 自動車ディーラー店長
やっささん	70代 男性 元団体職員
のぶりんさん	50代 女性 地域活動 & 主婦(八代市)
ひろぼん吉さん	40代 男性 会社経営
オカリナねえさん	60代 女性 オカリナ演奏 & 主婦
Otsucarさん	50代 男性 自営業
bunさん	50代 男性 団体職員
隊長さん	40代 男性 公務員
おていさん	40代 女性 地域活動 & 主婦
みかんさん	40代 女性 翻訳業(英国在住)
金魚さん	30代 女性 会社員
ゴンタのママさん	40代 女性 酪農業

日記のテーマと内容は、日常生活とライフスタイルをはじめ、自然、食べ物、車などの生活周辺の出来事、さらには教養娯楽、健康・福祉など日常生活に関わる身近な出来事から、社会・政治問題、地域活性化などの課題、SNSの交流まで多様な内容にわたります（表 3-11 参照）。

しかし、多様で多岐にわたる日記内容も、日記を書く視点を個々に見てみますと、精神

世界に視点を置きながら自然生態系の問題を取り上げていたり、酪農業を通じた北海道と地方を見つめるもの、自営業である学習塾経営の視点から子供たちの成長の様子を見守るもの、川柳やオカリナなど趣味・教養娯楽の分野を生活感覚を盛り込みながら発信するものなど、個々人の経験を踏まえた個性豊かな書き込みがあり、なかには、地域活性化や北海道の開発問題に正面から向き合った視点なども随所に見て取ることができます。中高年がリードするSNSは、人生経験の豊かさに裏打ちされた日記内容の視点の明確さと内容の幅の広さに特徴があるとも言えそうです。

表3-8 メンバーの属性と日記のテーマと視点

メンバー	属性	テーマと内容	日記の視点
グリとグラさん	40代 男性 自営業(事務局)	家族と生活	・家族の中に置かれている個人的な立場から人間の生き方を見つめようとする視点
takeさん	50代 男性 団体職員 (＃)	林とこころ スピリチュアル 健康テーマ(腰痛・・・) 老化問題 時事問題(中国問題) 地域活力再発見	・精神世界に視点を置く
atuさん	50代 男性 自営業(＃)	パソコン活用とソフトの問題 旭川・富良野周辺生活レポート 父親の介護レポート 中国食の安全問題	・パソコン活用とソフト利用などを中心にしている
コリンのママさん	50代 女性 大学教師	中国人留学生との交流 地域活性化運動 言葉ゲーム 地域レポート 海外国内旅行レポート	・地域活性化に正面から向き合う ・交流レポートによる発信・運動
owlさん	50代 男性 自営業	地域と自然(植物関係) 写真による風景発信 どっとねっとを活性化アイデアと注意点 行政などへの苦言 youtube動画	・SNSを盛り上げるための運動論としての視点
キャロルさん	50代 自動車ディーラー 店長	車とライフスタイル(車整備、道の駅、車の税金など) 社員教育・接遇・営業ノウハウ 健康テーマ(歩く運動) 近くの美味しい食べ物屋さん 花がざり(マイフレンド交流ねた) 北海道日本ハム応援	・車をテーマとした会員との情報交流
やっささん	70代 男性 元団体職員	歳時記日記 相撲、将棋 川柳 回転寿司など生活ねた 自伝小説など次世代継承テーマ 歌と思い出 四字熟語 音楽コンサート(ギター) 狂言など古典芸能 道民カレッジ(カルチャー)	・教養文化と娯楽を織り交ぜた生活感覚を重視
のぶりんさん	50代 女性 地域活動& 主婦(八代市)	家族と生活 SNSメンバーとの交流	・多くのSNSと関わりながら家族や交流ネタを発信
ひろぼん吉さん	40代 男性 会社経営	オホーツク地域での出来事 生活とビジネス	・オホーツクの地域に拠点を置いた生活周辺の出来事を発信
オカリナねえさん	60代 女性 オカリナ演奏& 主婦	オカリナ愛好活動 家族とペット 周辺の花、野鳥など 北海道の学力事情 演奏会・人形展など 障害者とパソコンなど レストランでの食事 孫との生活(運動会など)	・オカリナ活動を中心に生活面での出来事、問題を取り上げている
Otsucarさん	50代 男性 自営業	アメリカ滞在経験記 アメリカ政治事情 学習塾事情(子供たちのこと、進学のこと) 絵文字の薦め(ハウツー・ライフスタイル) 生活型ものづくり(省エネ) 男の料理の工夫 独身事情と結婚観 パソコン事情	・仕事と生活の中からメリハリの利いたテーマを掲げている
bunさん	50代 男性 団体職員	ペットと生活 キャンパス散歩レポート 開拓の歴史など 苫小牧周辺レポート	・ペットとの生活を通して、地域を見つめる
隊長さん	40代 男性 公務員	北海道活性化と開発計画 地域問題と上川・道北地域問題 国政動向と北海道 スポーツ(日ハム)と地域活性化貢献 子育て問題(受験状況など) ミニオフ呼びかけと交流	・開発問題に正面から向き合う ・どっとねっとの活性化利用にもストレートに向き合う
おていさん	40代 女性 地域活動& 主婦	お寺と地域運動 家族の日記 欧州訪問 サロベツの自然と植生 絵本のお話 ケーキづくりなど	・地方生活に根ざした子供たちとの柔軟な地域運動
みかんさん	40代 女性 翻訳業(英国在住)	英国から見た日本事情 英国での暮らし(クリスマス、買い物、博物館、道路事情など) 英国フットパス紹介	・英国生活を拠点とした海外レポートにより新鮮なテーマを掲げる
金魚さん	30代 女性 会社員	ペットと家族 時事問題(地下鉄犯罪、教育者問題) ユーモアとは?日記の書き方	・ペットを中心にユーモア感覚での書込み
ゴンタのママさん	40代 女性 酪農業	酪農業と北海道の自然・生活	・酪農業を通して北海道と地方を見つめる

3-4-2 情報発信・交流のアプローチとメンバーの関心状況

先のメンバーの属性と日記のテーマと視点に続き、メンバーの日記書込みによる発信・交流のアプローチとそれに対するメンバーの関心状況を整理すると以下の通りまとめることができます。改めて整理すると、個々のメンバーが楽しく活発な交流が持続する裏には、各メンバーが発信や交流に際して様々な工夫をしていることが見て取れます。

【書き込みからみた発信・交流へのアプローチ】

- ・ギャグ感覚で楽しい交流をひろげようとするアプローチ
- ・精神の癒しなどを自然や地域に目を向けることによって求めようとする考え方を発信・共有しようとするアプローチ
- ・仕事の専門分野からわかりやすくノウハウを提供するアプローチ
- ・交流情報発信による地域問題解決のアプローチ
- ・目標設定により運動を盛り上げるアプローチ
- ・仕事と生活面の中から実直な情報交流によって楽しく盛り上げようとするアプローチ
- ・日常生活の中での文化活動から交流を広げようとするアプローチ
- ・一言発信、絵文字発信などで多くのSNSを盛り上げようとするアプローチ
- ・北海道SNS「どっとねっと」との連携を意識した地域SNSの盛り上げと活性化に向けたアプローチ
- ・趣味、生活周辺に視座を置きながら、楽しく交流しようとするアプローチ
- ・多様なテーマにわたり問題解決を分かりやすい身近な視点からたどるアプローチ
- ・地域や人間思想の根本を追求するアプローチ
- ・啓発型アプローチ
- ・宗教活動に根を置きながら、宗教色を全く出さない、実践による分かりやすい活動アプローチ
- ・外から見た日本・北海道を捉え、会員の思考プロセスを広げてくれるアプローチ
- ・ユーモア感覚で会員交流を柔らかく盛り上げようとするアプローチ
- ・酪農業を通して北海道の魅力や農業事情などを発信するアプローチ

このような工夫の結果、メンバーはお互いの日記に関心を寄せ合うことになりませんが、日記掲載・コメントに見るメンバーの関心状況（私見）をまとめた表を掲載しておきます（表3-9）。

表 3-9 日記掲載・コメントに見るメンバーのカバー部分

メンバー	発信・交流へのアプローチ	日記掲載・コメントに見るメンバーの関心状況	その他特記事項
グリとグラさん	・ギャグ感覚で楽しい交流をひろげようとするアプローチ	・日記掲載間隔にムラがあり、メンバーの関心状況もまちまちである。	・長文日記が特徴であるが、父親の家族の中での孤独感を正直に書き込むことによって現代事情を浮き彫りにすることを心がけている。 ・日記の書き込み件数が断続的でムラがある。
takeさん	・精神の癒しなどを自然や地方に目を向けることによって求めようとする考え方を発信・共有しようとするアプローチ	・中高年参加者の興味深いコメントが多い。 ・簡潔明瞭なレスポンスは模範的。	・主催者事務局として、中立的で継続的な書き込みを心がけている。 ・客観的な姿勢でどっとねっとの活性化を考えた書き込み内容が特徴。 ・参加者自らがどっとねっとを支えていくという視点を散りばめて意識付けを行っている。
atuさん	・仕事の専門分野からわかりやすいノウハウを提供するアプローチ	・一定間隔の日記書き込みを継続しており、一定数のコメント数を確保。	・パソコンの分かりやすい発信情報はメンバーにとって有益。 ・多岐にわたる分野を簡潔な日記で読ませる工夫が見られる。
コリンのママさん	・交流情報発信による地域問題解決のアプローチ	・一定の継続したコメント数を確保し、メンバーの関心を持続させている。	・どっとねっと立上当初から多くの日記を書き込み、精力的にどっとねっとを盛り上げてきた。 ・地域活性化テーマの日記が多く、内容面からSNSによる地域活性化を図ろうと意識している。
owlさん	・目標設定による運動盛り上げのアプローチ	・コメント数も多く、メンバーの関心度が非常に高い。	・どっとねっと立上当初から多くの日記を書き込みやオフ会呼びかけを行い、精力的にどっとねっとを盛り上げてきた。 ・最近若干疲れ気味。 ・写真コミュニティや雪遊びコミュニティの立上など、コミュニティの活性化も意識的取り組み。
キャロルさん	・仕事と生活面の中から実直な情報交流によって楽しく盛り上げようとするアプローチ	・日記内容によってメンバーの関心状況は多様であるが、好意的なコメントが多い。 ・北海道の生活に欠かせない車利用の有益な情報はコメント数も多く、メンバーから好評。	・仕事のノウハウを生活面で活かせる様に分かりやすく発信し、多くのメンバーから好意的な評価を得ている。 ・オフ会などでイベント幹事を行い、どっとねっとの楽しい交流に貢献。
やっささん	・日常生活の中での文化活動から交流を広げようとするアプローチ	・一定間隔の継続的な日記書き込みは中高年参加者の模範。 ・内容の深い歳時記日記にコメント数も多く、メンバーの関心度も高い。	・リタイア生活者の立場から、生きがい交流の手段としてSNSの活用を見出している。 ・高齢者がアクセスしにくいパソコンやネットへの障壁をクリアしてきた模範。 ・高齢世代の人生ノウハウを歳時記日記に存分に発信している。
のぶりんさん	・ひと言発信、絵文字発信などで多くのSNSを盛り上げようとするアプローチ	・一定間隔の日記書き込みを継続しており、外部参加ながらコメント数も非常に多い。	・どっとねっとの立上当初から地域SNSの先駆者的利用者として参加し、会員のモデルとなっている。 ・どっとねっとの懇談会で講師としてSNS動向を分かりやすく解説し、メンバーへの啓発に貢献。 ・オフ会などでも、物心両面での交流を絶やさない。
ひろぼん吉さん	・北海道SNSどっとねっととの連携を意識した地域SNSの盛り上げと活性化のアプローチ	・コメント数は多くないが、継続的な日記件数で、メンバーの一定の関心度を保持している。	・ブログとSNSとの連携した書き込みの模範。 ・簡潔で継続的な書き込みはどっとねっとの持続的発展の一方策を示している。
オカリナねえさん	・趣味、生活周辺に視座を置きながら、楽しく交流しようとするアプローチ	・一定間隔の日記書き込みを継続しており、コメント数も多い。	・オカリナ活動を継続的に発信し、中高年層の生きがいのモデル的存在。 ・メンバーへの日記コメントは柔軟でギャグセンス抜群。
Otsucarさん	・多様なテーマにわたる問題解決を分かりやすい身近な視点からアプローチ	・一日に複数の日記書き込みなどもあるが、簡潔明瞭、絵文字多様でメンバーを楽しませてくれる。 ・スピード感ある日記書き込み件数がメンバーの関心度を保持させている。 ・コメント数も多い。	・学習塾経営のノウハウを子供の進学事情という視点でわかりやすく解説発信。 ・簡潔な日記でユーモア感覚も取り入れている。
bunさん	・地域や人間思想の根本を追求するアプローチ	・継続したシリーズ日記で固定メンバーのコメントを確保している。	・絵日記シリーズはメンバーから好評。 ・簡潔・短文の日記記述が詩人を思わせる。 ・古き時代の札幌の歴史などの書き込みは忘れ去られた時代資産を発掘する貴重なレポートになっている。 ・思想史なども散りばめ、SNSの格調を高めている。
隊長さん	・啓発型アプローチ	・ストレートな書き込み内容がコメントを得にくい側面を持っているが、日記内容に個性ある際立った存在感を示しており、メンバーの関心度は高い。	・ストレートに開発問題を取り上げている視点が貴重。 ・公務員の立場を超えて、ギャグ的な感覚も織り交ぜるなど、日記の工夫が見られる。

メンバー	発信・交流へのアプローチ	日記掲載・コメントに見るメンバーの関心状況	その他特記事項
おていさん	・宗教活動に根を置きながら、宗教色を全く出さない、実践による分かりやすい活動アプローチ	・一定間隔の日記書き込みを継続しており、コメント数も多い。 ・内容の濃い、興味ある日記でコメントの内容も深い傾向が見て取れる。	・過疎地域の活性化を意識し、地域と子供たちとの意欲的な交流レポートが新鮮。 ・どっとねっと会員からの応援メッセージも多い。
みかさん	・外から見た日本・北海道を捉え、会員の思考プロセスを広げようとするアプローチ	・日記数は多くないが、新鮮な日記内容でコメント数も多い。	・外国から見た日本・北海道事情のレポートなどは地域SNSにとって非常に新鮮。 ・出身地が北海道であり、世界から見た日本・北海道の捉え方がリアルで有益。 ・金魚さんとの姉妹で参加しており、連携した書き込み内容がユーモアたっぷり。
金魚さん	・ユーモア感覚で会員交流を柔らかく盛り上げようとするアプローチ	・日記書き込み数は多くないが、立ち上げた日記へのコメントは多く、メンバーの関心度を持続している。	・女性として数少ない日ハム応援コミュニティに参加、実際の応援レポートが貴重。 ・日記数は多くないが、ユーモア感覚たっぷりメンバーからも好評。
ゴタのママさん	・酪農業を通して北海道の魅力や農業事情などを発信するアプローチ	・日記数は多くないが、メンバーの関心の高い日記内容でコメント数も多い。	・酪農業の現場レポートは、農業問題をリアルに捉えなおす機会を提供しており、札幌や全国のメンバーから絶対的評価を受けている。

3-4-3 日記の書き込み件数とコメント数

「どっとねっと」の盛り上がりや関心度の高さは、日記の書き込み件数やコメント数の多さから一目瞭然です。

開設当初から 2008 年 1 月末までのアクティブライターのうち 17 名の 10 日間当たりの日記書き込み件数は一人当たり平均で 5.1 件であり、10 日当たり 5 件以上の日記の書き込みを行っている人が 17 人のうち 8 人もいます。また、10 件以上のコメント数を得られた日記は 1860 件で、10 件未満のコメント数の日記の 1848 件を超えています（57p 表 3-10）。

日記の内容や交流の質的な側面を無視して、日記の立ち上げ件数やコメント数の表面的な数値の高さだけで SNS の盛り上がりや関心度の高さを評価することはあまり意味がありません。しかし、これまで見てきたとおり、「どっとねっと」の場合は、中高年の豊かな人生経験に裏打ちされた個性豊かで幅広い視点による日記の書き込み内容や、真摯で工夫した発信交流アプローチの結果（58p 表 3-11 参照）によって、メンバー間の関心や信頼関係が深まり、一層日記書き込みへの意欲が持続し、メンバー間の関心度が増して行くという循環が起こっているということが言えるのではないのでしょうか。

（小椋護）

表 3-10 日記の書き込み件数とコメント数

	メンバー	10日間当たり日記書き込み件数(件)	コメント数で見た日記件数						
			0件	1件から10件未満	10件～20件未満	20件～30件未満	30件～40件未満	40件から50件未満	50件以上
1	グリとグラさん	1.8	0	44	38	20	2	1	0
2	takeさん	6.5	1	133	207	29	2	0	0
3	atuさん	2.5	0	87	48	4	0	0	0
4	コリンのママさん(正)	6.0	2	203	112	3	1	0	0
5	owlさん	10.1	4	168	238	97	14	2	1(58コメント)
6	キャロルさん	9.5	0	289	173	12	1	0	0
7	やっささん	4.9	0	23	190	24	2	0	0
8	のぶりんさん	4.4	0	71	116	21	4	0	1(68コメント)
9	ひろぼん吉さん	3.0	18	120	0	0	0	0	
10	オカリナねえさん	2.7	0	92	33	1	1	0	1(55件)
11	Otsucarさん	6.9	0	132	147	32	3	0	0
12	bunさん	7.1	5	167	53	5	0	0	0
13	隊長さん	8.2	1	171	54	8	0	0	0
14	おていさん	6.4	0	88	64	17	0	0	0
15	みかんさん	1.1	0	7	14	2	5	1	0
16	金魚さん	1.5	0	6	14	16	2	0	0
17	ゴンタのママさん	1.7	0	16	11	13	0	0	0
合計	17人	5.1	31	1817	1512	304	37	4	3
			1848		1860				

表 3-11 日記のテーマと内容の分類

日記のテーマは、限られたアクティブライターでありながら、日常生活から教養娯楽、活性化ビジネスまで多様な分野に渡っている。特に、地域活性化を主なテーマに日記を書いている人も3人もいる。

網掛け箇所は、各メンバーが最も多く日記を書いているテーマの分野である。 は各メンバーが書いている日記の主なテーマと内容を分野ごとに配置したものである。 は各メンバーが 以外で取り上げたことのあるテーマと内容である。

コアメンバー	日常生活とライフスタイル			生活周辺			教養娯楽				健康・福祉		タウン情報・旅行		社会・政治問題		活性化・ビジネス		SNS交流		
	日常の日記・歳時記	生活・ライフスタイル	家族・ペット	自然・花・動物	食べ物・グルメ・お酒	車とライフスタイル	趣味・サークル・教養文化活動	音楽・映画・本・ファッション・アート	教養ゲーム・遊び	スポーツ	PC・インターネット	障害者・福祉・介護問題	健康問題・精神活動	地域・タウン情報	旅行・行楽	時事ニュース・社会問題	政治・行政問題など、世界動向	地域活性化、地域運動、イベント・コミュニティ	仕事・ビジネス	マイフレンド交流・オフ会など	その他
グリとグラさん		家族と生活					演劇イベント													オフ会呼びかけ	
takeさん					ビール事情							林とこころスピリチュアル健康テーマ(腰痛・老化問題)			時事問題(中国問題)			地域活力再発見			
aituさん										パソコン活用とソフトの問題	父親の介護レポート			旭川・富良野周辺生活レポート		中国食の安全問題					
コリンのママさん								言葉ゲーム北海道の地名						海外国内旅行レポート			中国人留学生との交流 地域活性化運動 地域レポート				
owlさん				地域と自然(植物関係)			写真による風景発信 コミュニティ管理	youtubeでの音楽と生活								行政などへの苦言		雪と遊ぶ運動 コミュニティ管理		オフ会呼びかけ	どっとねっとを活性化アイデアと注意点
キャロルさん					近くの美味しい食べ物屋さん	車とライフスタイル(車整備、道の駅、車の税金など)コミュニティ管理			北海道日本ハム応援			健康テーマ(歩く運動)						社員教育・推進・賞賛ノウハウ	花がざり(マイフレンド交流ねた)		
やっささん	歳時記日記				回転寿司など生活ねた		相澤、将碩川柳 自伝小説など 次世代継承テーマ 道民カレッジ(カルチャー)	歌と思い出 音楽コンサート(ギター) 狂言など古典芸能	四字熟語 北海道の地名												
のぶりんさん			家族日記																	SNSメンバーとの交流	
ひろぼん吉さん		オホーツク地域での生活と出来事														オホーツクと地域問題		生活とビジネス			
オカリナねえさん		孫との生活(運動会など)	家族とペット	周辺の花、野鳥など	レストランでの食事						障害者とパソコンなど			オカリナ愛好活動 演奏会・人形展など		北海道の学力事情					
Otsucarさん		生活圏ものづくり(省エネ) 男の料理の工夫 結婚事情と結婚観														アメリカ滞在経験記 アメリカ政治事情			学習塾事情(子供たちのこと、進学のこと)		
bunさん		キャンパス散歩レポート	ペットと生活																開拓の歴史など 苫小牧周辺レポート		
隊長さん		子育て問題(受験状況など)																	北海道活性化と開発計画 地域問題と上川・道北地域問題 国政動向と北海道スポーツ(日ハム)と地域活性化貢献 お寺と地域運動	ミニオフ会呼びかけと交流	
おていさん		家族の日記		サロベツの自然と植生	ケーキづくりなど		絵本のお話 コミュニティ管理							欧州訪問							
みかんさん							英国フットパス紹介										英国から見た日本事情 英国での暮らし(クリスマス、買い物、博物館、道路事情など)				
金魚さん			ペットと家族													時事問題(地下鉄犯罪、教育者問題)					
ゴンタのママさん		酪農業と生活		酪農業と自然															酪農業と仕事		

3-5 システムの過不足に関する反省と診断

「どっとねっと」が採用した OpenPNE は、XOOPS がない足跡機能やマイページ等を装備したことで、mixi に近い操作性を実現しています。しかし、多少の問題が発生していることも事実です。

システム上の問題点は主に利用者から管理者に対して報告されることが多く、当システムに装備されているメッセージ機能が重要な役割を果たしています。ここでは円滑な交流を進めるベースとなる SNS の「システム」について振り返ってみます。

3-5-1 「どっとねっと」の会員からの声

「どっとねっと」のメッセージ機能を通じて、システムに関して会員から案内人へ様々な意見が寄せられました。以下にその内容を掲載します。

管理者の受信メッセージ内容

【システムの利用方法に関して】

・日記への画像アップ方法について	1 件
・ランキングのアクセス件数の定義について	1 件
・トピック記事の修正依頼	1 件

【システムの不具合に関して】

・画像周辺の特異症状（変な模様が出現する）	1 件
・携帯電話でアクセスができない	6 件
・携帯電話で簡単アクセスができない	1 件
・ネットへの回線障害	2 件
・日記が削除できない	1 件
・リンクのアクセス不良	1 件
・他の SNS から接続可能（セキュリティ）	1 件

【会員同士の問題発生に関して】

・会員間のマイフレンド削除等	2 件
----------------	-----

【その他の連絡数】

・パスワードの再発行	1 件	
・管理人に対しての激励	6 件	
・コミュニティ紹介	1 件	合計 26 件

このように、案内人への全メッセージの中で、50%（13 件）がシステムの不具合に関する連絡に利用されています。また、携帯電話に関する内容は 27% となっています。

表 3-12 どっとねっとの会員からの連絡内容（OpenPNE 移行以降）

モニター	期日	気づいた点・質問・感想
o.wさん	8月29日	日記を書き込んで、写真をアップして、送信しようとしたら。マイドキュメントのマイピクチャの写真(jpg 197Kb)がロードできず、日記だけでもと、確認画面をクリックしたところ、日記までも消えてしまい。mmm・・・どの様にすると良いのでしょうか？
k.tさん	10月5日	ランキングのアクセス件数はどのようにして決まるのですか？初歩的な質問で申し訳ありませんが、教えてください。もう1つ、日記の書込みはマイフレンド以外は書き込むと失礼になるのですか？
o.wさん	10月11日	イベント前に、ママと集中的に、企画の洗い直しや、見直しを掛けているときに、ママにも、実際の現象を見て貰っていますが、気にすると気になるという感じですし、何か悪さをするようでもないのに、現象を知って貰ってれば、それで良いと思っています。因みに、彼女には、出ていないらしいので、僕だけなのかも知れませんね。
k.yさん	10月30日	携帯でアクセスが出来ない。発行者エラーのメッセージが出てきます。A5515Kというものです。赤外線とかもついてない、結構古いタイプだし、winでもないからその、SSLとかいいうのに対応してないのかもしれないですね。
t.kさん	11月19日	o.wさんから電話があって、福岡グループが携帯からアクセスしたいのだけどできない、と言っておりました。 携帯からのアクセスについてt.kさんが日記に処置方法を掲載
k.mさん	11月25日	携帯からログインできないのはどうしてでしょうか・・・ h.nさんのやり方ならできるのですが、ezweb画面からはいまだはいっていきません。
m.yさん	11月25日	今だに 携帯から 入れないです・・・ VARRYはOKなのですが・・・???
o.nさん	11月25日	PCから急にアクセスが出来なくなった。
m.yさん	12月9日	softbankなんですけど～～～
k.mさん	12月22日	携帯のpcサイトビューアでは見れますが、ezwebでは、ログインする前に、安全でない可能性があるために接続できません（発行者エラー）がでて、そのさき進めません。機種はauW43Kです。
	12月24日	今チェックできないので帰ったらやってみます。
y.mさん t.kさん	1月5日	TOPページ画像のURLでアクセスできない。
o.wさん	1月7日	m.yさんから 依然携帯からの接続が出来ないと連絡が入りました。機種については、聞いていませんが、改善されているのでしょうか？また、携帯から直接のアクセスは、出来ないのでしょうか？福岡のSNSに、参加していますが、こちらに参加したい旨を貰っている人達が居るのですが、参加は不可能なのでしょうか？
m.yさん	1月9日	携帯アクセスの件で、機種番号の連絡をもらう。 softbank SAHRP 9055H

モニター	期日	気づいた点・質問・感想
t.kさん	1月26日	昨夜、どっとねっと参加者から、よそのSNSに掲示されたどっとねっとのマイページに、ログインなしで入ることができる、という連絡があり、g.gさんに連絡(a.uさんは不通)して、若干、試してもらいました。
n.bさん	3月8日	何度やっても接続拒否された。 Au W32T
n.bさん	3月9日	ケータイからのログインは初めてです。(設定変更から昨夜、手続きしました) 「このサイトは安全でない可能性があるため接続できません(発行者エラー)」です。
n.bさん	3月9日	そちらからきたURLをお気に入りに登録して、そこから入ると「このサイトは・・・接続できません(発行者・・・)」が出て、OKを押すとEZMENUに戻ります。ここまでは、(・0・)お手上げ。 どっとねっとからメールがきて、「メールボックスにメッセージが・・・」ってコメントの後にURLが青く帯になっているのをクリックしても同じです。「このサイトは安全では・・・」になり、OKにするとまた、「どっとねっとからのメッセージが届いてます」の画面に戻ります。。
n.bさん	3月10日	キャッホー(^_^)vこのメッセ、ケータイからで〜す 出来たよ atuさん、ありがとうございました。ヤッター~(*^_^*)
-	4月13日	サーバー通信障害 原因：NTTによる設定ミス。
-	4月17日	サーバー移転作業完了。
t.kさん	5月13日	わたしの携帯からアップした実験日記にいくつか反応があって、簡単アクセスできないのが不便だという話になっています。
t.kさん	6月15日	午後3時頃から「どっとねっと」へのアクセスが出来ない状態が発生。
a.tさん	6月18日	ここ数週間、どっとネットへの接続が断続的にできなくなることがあり、NNIさんにその事象について問い合わせをいたしました。このことにつきまして、NNIさんより回答をいただきました
k.mさん	9月13日	昨日日記をあげたのですが、写真を入れたちあげたところ、同じものが2つできてしまいました。で、2つのうちひとつを削除したところ、もうひとつが変な形で残ってしまい、それはもう削除できません。もしお時間があれば、覗いてみてください。http://www.hokkaido-sns.net/sns/?m=pc&a=page_fh_diary&target_c_diary_id=3797
NNI	9月17日	9月17日：15時20分から、NTT側の回線障害により、断続的にサーバーへの接続ができない状態になっております。ご迷惑をおかけしまして大変申し訳ございません。 現在NTT側へ状況を確認している状況です。最近NTT側の障害に関しては、TVでも問題になっていますが、NTT側に確認したところ、東日本全体の問題らしく設備の整備を行っているとのことですので、時機に良くなると思われれます。
h.kさん	11月8日	11月8日 h.kさんから、コミュニティのトピック記事の訂正をして欲しいとの依頼あり。

3-5-2 携帯電話からの接続に関する内容

「どっとねっと」は携帯電話によるアクセスを可能にしていますが、一部の携帯電話からログインが出来ないという現象が報告されました。調査の結果、携帯電話メーカーであるソフトバンク製の大幅変更により、当システムでの認証が出来ないという事実が判明したため、各携帯電話からのアクセスを可能にする設定を行っています。

また、当システムには「簡単ログイン機能」を装備していますが、携帯電話の一部機種によってはこの「簡単ログイン機能」が利用できないことも会員からの報告で判明しました。こちらも、調査の結果によると、システムのバージョンアップを行うことで克服できるとのことですが、バージョンアップを実施するには克服すべき別の問題点が浮上しています。

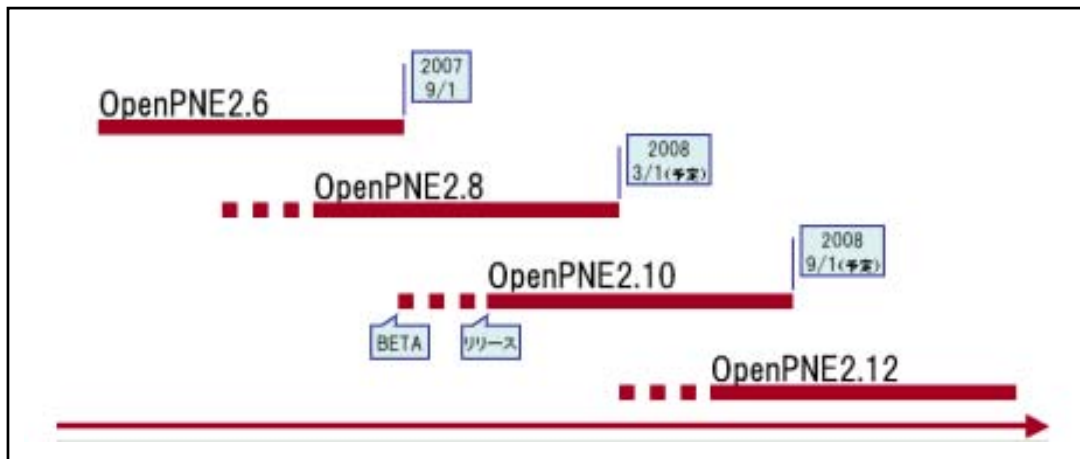
3-5-3 バージョンアップの問題点

OpenPNE のバージョンアップは、開発元の(株)手島屋が主体となって、不定期に実施されています。しかし、バージョンアップは頻繁に行われているため、初期のシステムとの差異が大きくなることで、初期システムと最新バージョンとの互換性が乏しい点が問題視されています。この点は改良も行われてはいますが、旧システムのサポートを終了させるなど、利用者に対しては有料対応になるケースが多く、この有料サポートを問題点と捉えるかどうかは難しいところと言えます。

最新バージョンの内容

平成 20 年 1 月 14 日現在、OpenPNE の最新バージョンは ver2.11.2 となっています。
(次のリリース予定は 2008 年 5 月 1 日の予定。)

【開発元における、OpenPNE 安定版メンテナンススケジュール】



現行バージョンから最新バージョンへの移行に関する問題点

「どっとねっと」の現バージョン(ver2.2.0)を上位バージョンに移行する場合、Ver2.2、2.4、2.6、2.8 と大きな変更作業を段階的に実施する必要があります。これらの移行には個々の注意点を考慮に入れて、慎重に実施していく必要があります。例えば、「日記」「コミュニティ」等のテキスト及び画像データは、新バージョンのデータベースに移動できない恐れがあり、この部分が、バージョンアップの難易度を高めています。

「どっとねっと」では、現在のデータベース内に存在する全データを最重要と位置付けており、データ損失のリスクは極力避けなければなりません。従って、現在は敢えてバージョンアップを保留している状況です。

既存データの移行を行わない場合は、比較的スムーズに最新バージョンへの以降が可能となります。

現在の「どっとねっと」で使用しているバージョンは、開発当初から見ても、必要なセキュリティは改善されているため、一部、「かんたんアクセス」機能以外の支障は発生しておりません。

3-5-4 反省点

システム上の反省点としては、「バージョンアップの実効性」について焦点を当てなければならぬと思います。例えば、開発元でのマイナー・バージョンアップは1~2ヶ月に一度実施されています。本来、その都度、バージョンアップ作業を行うことが望ましいとされていますが、バージョンアップの作業を行う上では避けて通れない注意点も多く、その都度、データ損失のリスクを負わなければなりません。

そのため、データ保全を重視するなら、バージョンアップの作業を極力実施したくないという問題点が起きます。従って、今後はこのリスクをどのように考えていくのかが大きな課題となるでしょう。

開発元には、今後、バージョンアップの移行作業をスムーズに行えるような技術向上と情報開示を期待するものです。

3-5-5 診断

システムの動作に関する診断

システムの動作については、利用者が24時間、いつでも利用したい時に、快適に利用できることが重要となります。「どっとねっと」の場合は、接続回線としてBフレッツの光接続を導入しており、接続スピードにおいては問題ありません。しかしながら、平成19年度の後半においては回線障害により、1日程度のアクセス不可の状況が発生しました。この原因は、光回線自体の不具合が発生したことによるもので、不可抗力とも言えるでしょう。

次に、「どっとねっと」が、各接続者のブラウザ(インターネット・エクスプローラ等)によって、快適に表示されるかという問題ですが、これは、サーバーのメモリ容量に依存するケースが多いことから、2GBのメモリに増強することで、表示速度を

高めています。本来、OpenPNE が必要とする最低の動作条件は、メモリが 512MB 以上となっています。しかし、実際の動作検証の結果、ある時間帯でのアクセス状況等を考慮すると、最低 1GB は必要であり、「どっとねっと」の場合は、それをクリアしています。

これらのことから、動作に関する問題として、現状の会員数においては問題点は認められなかった結果となっています。ただし、今後の会員数増加に伴い、日記等への画像投稿の増加によって一時的に数秒程度の表示遅延が予想されますが、この通信速度は数年前に全盛期だった ISDN 回線の数倍～数十倍の性能となっており、問題レベルではないと言えます。

システムの操作性に関する診断

システムの操作は、「どっとねっと」における新規登録から始まり、日記へのテキスト及び画像投稿、コミュニティでの動作、メッセージ送信等の操作性が焦点となります。

OpenPNE は、mixi を手本に改良を重ねたシステムですので、前述した各操作性は高く、ユーザーからは概ね満足して頂いているようです。ただし、開発者サイドでは開発経過におけるバグ（プログラムのミスや不具合）が報告されており、逐次改善されてはいるものの、ある一定の操作時に不具合が発生する可能性を秘めており、その部分に不安要素が存在します。

しかし、この問題は世界の最大手の windows を例にとってもわかるように、いくら完成度が高いシステムでもバグは必ず存在することから、快適性とバグは表裏一体の問題とも言えます。これらの状況からも、「どっとねっと」の操作性は最低限の操作環境をクリアしていると判断できます。

（佐藤敦久）

3-6 参加者の感想・参加者とのシステムに関する意見交換

3-6-1 懇談会での意見交換の結果概要

平成19年9月の懇談会（オフ会）は、19年度が「どっとねっと」の社会実験計画の終了年度にあたり、懇親を図りながら利用者の生の声を聞き、今後「どっとねっと」の維持継続可能性等に向けた意見交換を行うために開催したものです。以下、意見交換の流れをメモします。

（説明概要と意見等）

- ・「どっとねっと」は開設以来250人近くの参加があり、アクティブライター（日常的なコアメンバー）も20人を超え、活発な利用がなされてきた。
- ・「どっとねっと」の利用者はほとんどの人が満足しており、中高年メンバーが中心の安心できるSNSとの評価も高い。今後の維持継続して欲しいとの声が大勢で、維持運営にもボランティアで関わるとの意思を持っている人が多くいる。自立的な体制作りが必要であるとの指摘や具体的に個人で何をすればよいかの明示の注文もあった。（アンケートのまとめ概略は次項66P 3-7参照）
- ・「どっとねっと」の今後の運営については、「どっとねっと」とほぼ同じ機能を持つ@ピエネへの移行を提案したが、一部の声を除き特段の反対意見は見られなかった。しかし、既存データが失われる可能性が大きいため、同じシステムの継続がベスト。実際の移行に際しては、メリット、デメリットの周知やデータの保存などの徹底を呼びかけていく必要がある。
- ・ゲスト「のぶりん」さんのメッセージの骨子は以下のとおり。
 ...地域SNSとの出会いによって、多くの人との交流の輪が広がり生活が楽しくなった。オフ会やSNSが縁で環境づくりや地域物産販促のまちおこしなど、地域を越えたコミュニケーションの活性化や地域活性化への具体的な貢献実績を述べられた。「どっとねっと」については女性の参加者を増やすことがひとつの鍵だと思う。コミュニケーションの暖かさやユーモアを感じれ取れるSNSとして維持継続を期待している...

（今後の課題）

- ・これまで評価が高い、安心して参加できる「どっとねっと」の最大の良い点を引き継ぎ伸ばしていきながら、特に女性メンバーなど参加者の拡大を図り、よりコミュニケーションが活発で地域への活性化にも具体的に貢献できる方策の検討が必要。
 （ただし、ただ会員が増えればいいということは避けること。これまでの築いてきた質を保ちながら会員の継続的な拡大の視点が必要）
- ・自立的運営継続については、運営委員会などの体制づくりを年度末までに行い、アクテ

メンバーを中心に具体的な役割分担を明示した協力体制づくりが急務である。移行可能性のある@PNEは「札幌っ子SNS」が使用しているシステムであることは、もっと周知する必要あり。

3-6-2 その他の感想など

「どっとねっと」を利用してのシステムに関して、利用者の声をアンケートで聞いたところ、特段の不满や改善点の指摘はありませんでした。「どっとねっと」自体がひとつのコミュニティになっていることが興味深い、との声もありました。

比較的高齢の方も中心メンバーを構成しており、時間的な余裕のなかで十分な操作スキルを身につけておられているようでした。懇談会当日も話題になりましたが、以下に、Yさんの操作に関する興味深い工夫の日記を添付します。

Yさんの日記 2007年09月20日 15:55

テーマ：タンゴ登録

内容：先般のオフ会懇談会でのこと。いっときこんな話題がありました。

誰か「(やっささんは)以前、右手指一本、左手親指一本でキーボード打ってる、と書いてたけど、時間かかるでしょ」

やっさ「はい、時間たっぷりありますので、ポツポツと」(爆)

あのとき、言わなかったのですが、今頃思い出したんです。遅いは遅いなりに、少しは工夫もします、と。

皆さんも実用済でしょうか、それは「単語登録」の活用。しょっちゅう使う単語を短縮して登録しときます。例えば、

あが ありがとうございます

おは おはようございます

おめ おめでようございます

よお よろしく願います

などとします。

これで相当短縮されてて早いです。ていうか、これだけで済むことも多い。例えば、キリ番発表・やっさ踏みの場合、

おめ&あが。これからも、よお。

おめでようございます&ありがとうございます。これからも、よろしく願います。

(小椋護)

3-7 アンケートと参加者の声

19年9月の懇談会に先立ち実施したアンケート結果をもとに、「どっとねっと」参加者の声をメモ式にまとめてみます。

「どっとねっと」の利用状況

・・・1年で250人の参加、中高年が中心で20人のアクティブライターによる活発な利用

- ・18年9月の開設以来、登録者数が350人を越え、日記の書込みが毎週あるアクティブライターが約20人程度いる。開設して7ヶ月目以降、携帯電話からのアクセスが固定プロバイダーからのアクセスを超えた。
- ・コミュニティ数は50件近くあり、地域、スポーツ、娯楽、生活など広範な分野にわたり、日記も日常生活、自然・環境、食分野、家族・ペット、仕事、健康など身近な分野が多いが、時事ニュース・社会問題なども分野としての書き込み数は多くなっており、問題解決型SNSになりうる可能性をもっている。

これまで使ったの評価

・・・日常生活の句読点になり、交流の輪が広がった

- ・100%の人が使って良かったと答えており、生活の句読点になる、交流の輪が広がった、貴重な情報を得ることができたなど具体的な効果を上げる声も多かった。「どっとねっと」が中高年の参加者が多く、安心感があるなど「どっとねっと」の特徴を意識した評価も多い。

不満や改善点について

・・・特段の不満や改善点の指摘は少ない。

- ・特段の不満を表明するものはなかったが、日記のコメントへの写真添付機能や半強制的な勧誘への違和感を指摘する声があった。コミュニティが不活発との指摘もあったが、会員数からやむを得ぬところかもしれない。

地域の活性化への効果

・・・コミュニケーションの活性化には役立ち、地域の活性化には長い目で貢献するとの考えが多い。

- ・日常のコミュニケーションの活性化には役立つと考えており、地域の活性化には長い視点で見ると貢献したり、結びつくとの考え方が多い。
- ・活性化のためには500人超などの参加規模の拡大や自立した運営が基本になり、オフ会などの交流が活発化することが重要との指摘もあった。
- ・mixiなど大手のSNSと異なった独自の文化が生まれているとの認識の声もあった。

このほか、研究会やWGにおいて出された地域活性化に関する効果は次のような項目があります。

- ・(メンバーが) 商売上のお客さんとしてやってきた
- ・イベントを広めてくれて集客に役立った(農産物販売、コンサート、シンポなど)
- ・通常知ることのできない具体的な地域情報が手に入った
- ・治療方法、医療機関、その他健康に関する相談ができて重宝した
- ・交流が始まった
- ・生活が変わった=交流の意味に気づき、「どっとねっと」に向かう時間が増えた
- ・地域SNSの参考にしようという人が数人入ってきた
- ・仮想のコミュニティができた。それが現実の地域密着とは別のプラス面も持っている
- ・ネット利用のマナー、スキルが向上することがわかった(やり方次第)
- ・口コミ方式は、広がりには遅いが、会員制以上のマナー維持に役立っていることが付随してわかった

「どっとねっと」の維持・継続

・・・全ての人が維持・継続を望んでいる。

- ・100%の人が「どっとねっと」の維持・継続を望んでいるなかで、運営への個人の参加形態や方法を明示すべきとの指摘がある。一方で、1000円/年くらいの負担など具体的な参加表明もあった。

維持・運営への参加の協力の意思

・・・技術的な能力が無いので参加協力が無理だという方を除くと、ほとんどの人ができる範囲での協力の意思を表明している。

- ・技術的な能力が無いので参加協力が無理だとする参加者も奉仕活動の気持ちはあるとのことで、具体的にどのような協力が必要かを提示することによって、維持・運営への体制が具体的になると思われる。
- ・SNS運営者から運営についてはきちんとした組織体が必要との指摘があり、運営委員会のようなものを作ることが期待されている。

(小椋 護)

(次 69～71p に参考としてアンケート集計結果)

(参考) 北海道SNS どっとねっと アンケート集計結果

Q1. あなたはどっとねっとを利用していますか？

- 日頃お世話になっています。
- 一応、毎日覗いています。
- SNSを知らなかったPC音痴のものでも楽しく参加させていただいている。今後もズ〜と利用したいです。
- 単なるユーザーということではなく、仕事としても関係しているため、少しみなさんと微妙に立場は異なります。

Q2. これまで使ってみて「よかった」「なにかに役立った」と思ったことはありますか？それはどんなことですか？

- どっとねっとは、mixiに比べて参加者みなさんの顔が見えるような気がして、安心して私的な日記を書き込める気がしています。また、それに対する反応もマイルドでなかなか心地いいと思っています。自分の世代に近い人が多いのも、なにか、安心感に繋がるようなものを感じさせます。
- 実際の友人が出来たり、当店のイベントに来ていただいたり、オイル交換等の売上にもなりました。
- 自分が住んでいる地域や活動の情報発信・北海道民であることの意識の高まり・北海道の課題、問題、などが勉強できる
- 生活の句読点になりました。この年で新しい友ができました。
- 若い方の参加が少ないということで、流行りモノに対するスピード感溢れる対応は少ないですが、そのかわり中高年の方々の時勢を取り込もうとするエネルギー、様々な社会経験によって培われた考え方はとても参考になります。
- 特定地域名産、名所情報等など、日常生活では容易に得ることの出来ない貴重な情報を得ることが出来ました。また、日常生活に関する質問に対しても適切に回答していただいたので参加意義は高いと思います。
- コミュニケーション法として 時代に即応していると感じています。通常の社会生活では出会えない人たちと、ネット上で出会い、更に、オフ会という、新たなシーンでの交流や親睦は、現代社会が失いつつある、人と人との交流という輪を広げる場として、良いと感じています。

Q3. これまで使ってみて苦労したり、ちょっと疑問に思ったり、不満を感じたり、特に改善してほしいと思ったことはありますか？それはどんなことですか？

- 今月のクイズや今日の面白情報など、もう少しイベント企画的なものを主催者がやったら楽しいだろうと思います。インフォメーションなどをフルに活用して、エンターテインメントなどところを出してもいいと思うのですが、今後の受け皿に期待したいですね。
- 日記にコメントを書き込む時、写真を添付できれば良いです。コミュには写真を貼れるのですから何とかなる物なら・・・
- SNSの特徴かもしれませんが、オープンなところとクローズなところ(コミュニティーの関係で)がある。これは仕方がないところなので、全体への告知版のようなところがあると良いのではないかと。
- 半強制的に誘われたりすること。あくまで自主的な関係でありたい。
- 写真を掲載する場合、縮小しなくてはならないのが億劫で、つつい携帯からの画像を使ってしまう。そうすると画像がどうしても荒くなってしまい、見づらいのではないかと感じてしまいます。ここまでくるとそれぞれの書き手の個性が理解できますし、DMIに近い内容はメールで送れますから内容に対して特に問題はないと思います。
- 私自身の反省も込めてなのですが、日記の場所自体がコミュニティとなっているようで、コミュニティの存在が薄い気がします。全体数から見てそうになってしまうのはしょうがないのでしょうか？
- 使う側も、場を提供している側も、相乗で進化しているのではないのでしょうか。

Q4. これまで使ってみて、これからの北海道の各地でも、コミュニケーションや地域の活性化に役立つと思いますか？

- 役立つと思いますよ。ただ、一気に地域の活性化というものを目指すのは無理でしょうし、そんなものをめざしてもいいSNSはできないと思います。とりあえず、日常生活のことについて楽しい会話ができることがまず基本であり、それが正常に行われていれば、あと、時事ネタや、難しいテーマにも自然と発展するもんだなと感じました。最初から地域活性化について、などというテーマを立てても、長続きしないと思います。
- コミュニケーションや個人の生活活性化には役立つ、影響している と実感しています。そしてそのことが地域活性化に繋がる可能性は充分あると思います
- それはもちろん役立つと思います。地域にはいろいろな資源があり、活動(生活)されている方がいる。どっとねっと(北海道SNS)はコミュニケーションツールとして役に立つと。
- それほどの規模になっていない。地域の活性化に役立たせるためには500人超の規模が必要かと。
- 十分できると思いますが、地域コミュの構成人数にもよると思います。ただ、あまり細かい地域ネタになるとついていけないかもしれません。その面で札幌中心はやむをえないと思います。札幌中心からすぐに地域コミュに飛べるようなリンクの仕方が望ましいかもしれません。
- SNSがすぐに地域活性化に直結するのは難しいのかもしれませんが、どれだけ参加者を増やせるかということ、一人歩きしていくようなSNSに出来るかが重要と思います。一部の方々が積極的に使うことにより、どれだけの広がりを見せるのかについては、非常に興味があるところです。地域の人達が、面白がって使ってくれるようなSNS(オフ会多数有り)が理想ではないかと感じています。
- 役に立つと思います。ただ現状に満足せず一人一人が考え、疑問を声に出すことを忘れなければおのずと活性化されると思います。
- 利用法の一つの手段として ”場”として、役立つと感じています。

Q5. どっとねっとは、今年度で予定の社会実験が終了し、次の段階を迎えています。この「どっとねっと」をなんらかの形で維持・継続した方がいいと思いますか？

- なくなっても生活に困るものではないけど、少し生活やコミュニケーションのバリエーションが減ったなという気分にさせられるなと思いました。皆さんのコメントがある日記、そして、ネット上である一定の気心の知れた参加者どうしのコメントのやり取りができていた日記というのはいいものだと思いますので、どっとねっとが維持・継続できればいいなと思います。
- 是非継続をお願いします。維持費が掛かるなら各自で負担しても良いかも・・・(金額は年間1000円程度)
- 何らかの形で維持・継続は必要だと思います。人口減少がすでに始まり、地域コミュニティーも必要。どっとねっとは必要です。個人が何らかの形で運営とか維持に関われる形が見えると今後の検討に参加しやすいと考えます。
- ぜひ維持し、継続していくことを希望します。サーバーなどの維持費の問題もあるでしょうが、これからのユビキタス社会には必要な分野だと考えています。
- 継続したほうが良いと思います。このSNSのように中高年が集まる場所は、現実社会では「町内会組織」が近いと思います。しかし、町内会では参加している役員の力関係で、自由発言が出来ないケースも多いと思います。しかし、SNSは土地に拘ることが無いために、極めて自由発言が出来るところに大きなメリットがあると多います。
- 道内外地域SNSの意見交換の場としては続けて欲しいと思います
- 新たな模索や、実験を重ねて頂きながら、ぜひ、存続させて欲しいと、思っています。

Q6. 運営には動作環境の点検など日常的な管理と連絡体制が必要ですが、あなたは日常的なネット巡回や維持管理の一部について、奉仕活動として協力するつもりはありますか？
また、あなたの思いやアイデアがあればお聞かせください。

- ボランティアとして、応分の協力はできるかなと思います。ただ、極端に特定の人物に予期していない負担がかかったり、突出した考え方の人の参加運営により、偏向的な運営になることだけは避けたいですね。大局をつかみながらマイルドな進め方をするやり方が、皆さんの安心感、信頼感に繋がっているような気がしていますので、そこを中心に据えて今後も継続していく方法を模索することが、一番大切なことだと思います。
- 奉仕活動協力する気持ちはあふれるほどありますが そういった技術や能力を身につけていません・・・ごめんなさい
- パソコン操作が未熟ですので、残念ながら協力できません。
- 個人には技量と能力の差があるので、維持管理にどのような項目があり、どの分野にどのように関われるのかわからない。私のようなPC初心者でも関われる分野があるとすれば関わりたい。どっとねっとを維持してゆくために必要なことであれば、懇談会ではそのたたき台のようなものを提示していただけたらと考えやすいと思います。
- 協力したいと思います。また、奉仕協力は技術な部分に目がいいますが、”誰もが質問でき、誰もが回答できる”という場所を鮮明に打ち出し、そのアドバイザーとなる方を募集しても面白いと思います。この方法ですと、パソコンが苦手でも知識はフル活用できるでしょう。どっとねっとの場合は、様々な分野のスペシャリストが多いようにも見受けられますので、その知識をお借りできれば、より良いSNSが構築できるのではないのでしょうか・・・。
- 自分でも地域SNSを運営していこうと試みていますが、維持管理についてはなかなか上手く行きません。運営については、ある程度の組織体が必要だと思いますし、書き込んでくれるメンバーを発掘する必要があると思います。また、地域活性化については、ネット上だけではなく、信頼と協力を得るためにも顔を合わせた会議体(懇親会がOK)が必要だと思います
- 出来ることは協力は惜しみません。